

平成 30 年度 行政評価結果一覽

1 行政評価について

(1) 趣旨

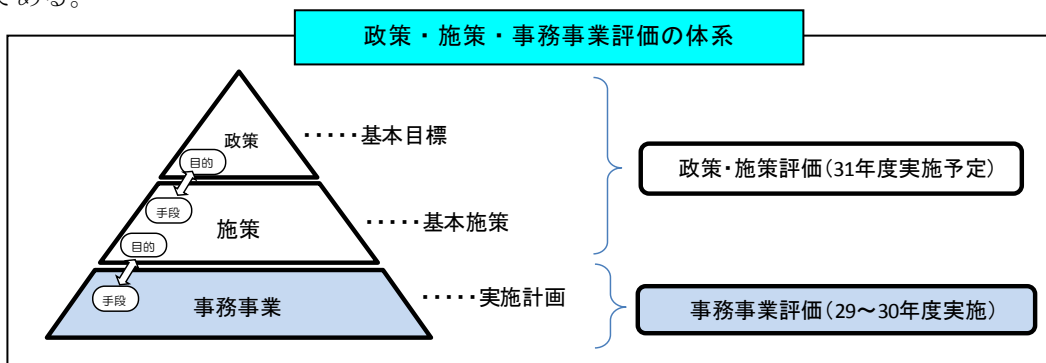
本市総合計画の効率的かつ計画的な推進に資するとともに、市民の視点に立った成果重視型の行財政運営の実現を図る。

(2) 対象

第五次鹿児島市総合計画後期基本計画に基づく第4期実施計画（平成30年度～32年度）に掲載されている事務事業を対象に評価を行った。

【参考：行政評価のスケジュール（実施年度）】

平成29年度及び30年度に事務事業評価を行い、31年度に政策・施策評価を行う予定である。



(3) 体制

① 一次評価

事業担当課による評価を実施

② 二次評価

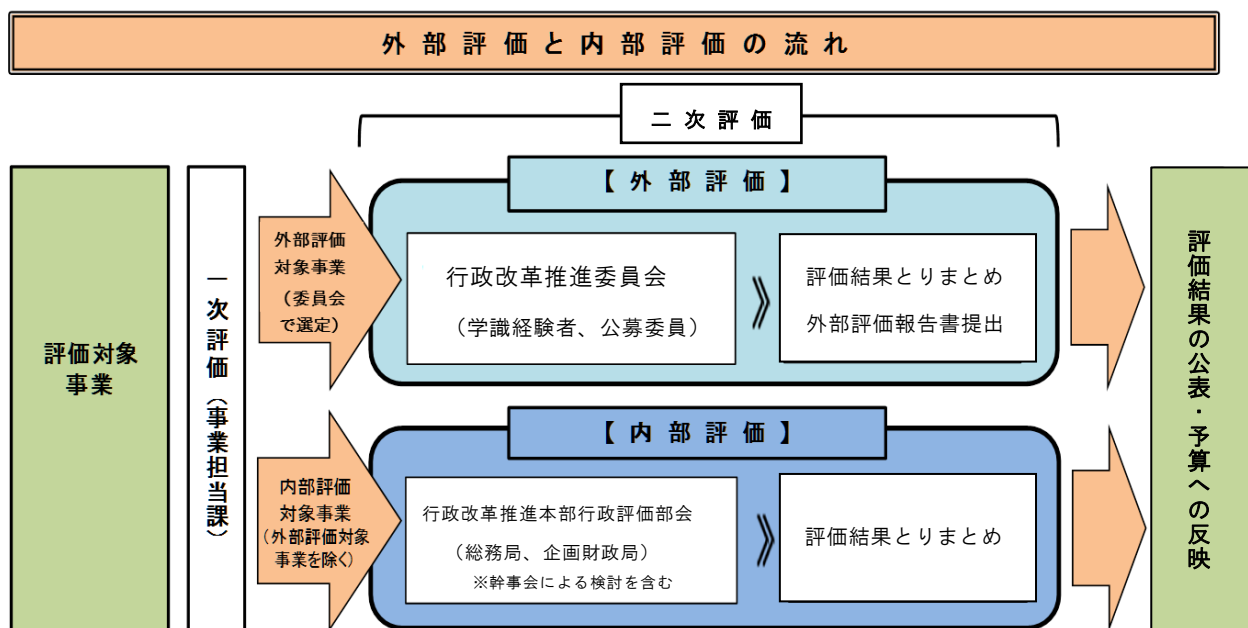
区分	評価組織	事業の選定	備考
外部評価	行政改革推進委員会	委員会が選定	事業課ヒアリング実施
内部評価	行政評価部会・同幹事会	上記以外	必要に応じ、事業課ヒアリング実施

(4) 実施年度

第五次総合計画期間

年度	区分		評価事業数等
24	事務事業評価	内部・外部評価	181(外部:35 内部:146)
25			198(外部:32 内部:166)
26			211(外部:32 内部:179)
27	施策評価	外部評価	外部:24施策
28	-	-	
29	事務事業評価	内部・外部評価	81(外部:12 内部:69)
30			85(外部:13、内部:72)
31	政策・施策評価	外部評価	

2 外部評価と内部評価の流れ



3 30年度評価結果

(1) 対象事業

第五次総合計画後期基本計画に掲げる全24基本施策のうち、30年度は14基本施策を対象に重要性・優先性の高い85事業を選定

外部評価 13事業

内部評価 72事業

(2) 評価結果

評価区分	項目	事業の方向性							合計	見直し率
		A:継続	B:見直し	C:統合	D:縮小	E:休止	F:廃止	G:終了		
外部評価	評価事業数(件)	4	8				1		13	69.2%
	構成比(%)	30.8	61.5	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	100.0	
内部評価	評価事業数(件)	59	13						72	18.1%
	構成比(%)	81.9	18.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
合計	評価事業数(件)	63	21				1		85	25.9%
	構成比(%)	74.1	24.7	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	100.0	

【 評価結果の見方 】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
2	環境対応車導入推進・普及啓発事業	環境局 再生可能エネルギー推進課	啓発・広報	○事業開始年度 平成10年度 【概要】 自動車使用に伴う温室効果ガス排出の削減を図るため、公用車及び市営バスに環境対応車を率先して導入するほか、環境対応車の普及促進を図るため各種支援策を掲載したリーフレットを作成し、周知広報などを行う。 【対象者】 市民等 【具体的な活動内容】 ・公用車及び市営バスへの環境対応車の導入 ・環境対応車に関する周知広報 など	市単	[概算コスト] 768 (内訳) ・決算額 143 ・人件費 625 (0.08人)	[概算コスト] 762 (内訳) ・決算額 143 ・人件費 619 (0.08人)	[概算コスト] 758 (内訳) ・決算額 143 ・人件費 615 (0.08人)	[概算コスト] 820 (内訳) ・予算額 197 ・人件費 623 (0.08人)

A~Kの説明

A

評価対象となる事務事業名が記入されています。

B

事業を実施する局名・課名が記入されています。

C

事業区分が記入されています。

【市民参画】

・市民参画を図るもの

【相談】

・市民からの相談に対応するもの

【許認可・検査】

・許認可や検査などを実施するもの

【監視・規制】

・監視、規制や指導などを実施するもの

【助成・育成】

・市民の福祉向上や市の活性化のために補助金等の交付などを通して助成・育成等を行うもの

【イベント】

・イベントの実施や実施を支援するもの

【啓発・広報】

・広く市民等に情報を伝達し、啓発や広報を図るもの

【調査・研究】

・事業の実施等に向けて調査・研究するもの

【社会基盤・都市施設基盤】

・インフラの整備を図るもの

【施設維持・管理】

・インフラの維持を図るもの

【市民サービス】

・市民の利便性を図るもの

【内部管理】

・行政内部の管理業務を行うもの

【その他】

・上記のいずれにも該当しないもの

D

事業開始年度や概要など、事業の主な内容が記入されています。

E

財源について、国・県補助、市単、特会(国・県補助)、特会が記入されています。

※「国・県補助」は、国や県から補助があることを表し、「市単」は、国や県から補助がないことを表しています。また、「特会」は一般会計以外(特別会計や企業会計)であることを表しています。

F

直接経費に人件費を加えた総事業費が記入されています。

※30年度の数値は、年度当初における予定数値です。

※人件費はその年度の平均給与額を基に計算しています。

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
買い替え及び新規に購入する公用車のうち、環境対応車の導入割合 (単位: %)	[目標値] 90 [実績値] 89 <達成率> 98.8%	[目標値] 90 [実績値] 89 <達成率> 98.3%	[目標値] 90 [実績値] 98 <達成率> 108.6%	[目標値] 90	環境対応車のうち次世代自動車の普及率 (単位: %)	[目標値] 23 [実績値] 31 <達成率> 134.8%	[目標値] 25 [実績値] 30 <達成率> 120.0%	[目標値] 27 [実績値] 32 <達成率> 118.5%	[目標値] 29	A	A	継続 (理由) 公用車及び市営バスに環境対応車を率先して導入し、また、市民・事業者へ環境対応車の普及促進を図り、自動車使用に伴う温室効果ガス排出削減を行うために必要な事業である。

G

主な活動指標と、その目標値・実績値が記入されています。
 ※活動指標とは、事業を実際に執行した際の活動実績を表した数値です。
 ※30年度の数値は、年度当初における予定数値です。
 ※目標値の設定がなじまない事業(例: 救急患者の数など)については、実績値を目標値としています。

H

主な成果指標と、その目標値・実績値が記入されています。
 ※成果指標とは、行政活動を実行することにより得られた成果を明確にした数値です。
 ただし、一部については数値化が困難なため、数値では記入していません。
 ※30年度の数値は、年度当初における予定数値です。
 ※目標値の設定がなじまない事業については、活動指標と同様に実績値を目標値としています。

I

J

事業実施課による一次評価並びに内部及び外部による二次評価結果が記入されています。
 【A 継続】
 ・継続して事業を実施(なお書きは事業を実施するにあたって留意すべき点等を付記している。)
 【B 見直し】
 ・事業の実施方法等を見直すべき
 【C 統合】
 ・事業を統合すべき
 【D 縮小】
 ・事業規模を縮小すべき
 【E 休止】
 ・制度は必要だが、事業を休止すべき
 【F 廃止】
 ・制度自体を廃止すべき
 【G 終了】
 ・事業の終期に合わせて、終了すべき

K

評価結果の理由が記入されています。

2-1 低炭素社会の構築

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
1	電気自動車普及促進事業	環境局 再生可能エネルギー推進課	助成・育成	○事業開始年度 平成21年度 【概要】 自動車使用に伴う温室効果ガス排出の削減を図るため、電気自動車を購入する市民、法人に対して助成する。 【対象者】 市民、市内事業者(法人) 【具体的な活動内容】 ・補助金交付事務 ・補助制度の周知広報等	市単	[概算コスト] 6,835 (内訳) ・決算額 5,850 ・人件費 985 (0.13人)	[概算コスト] 6,075 (内訳) ・決算額 5,100 ・人件費 975 (0.13人)	[概算コスト] 6,768 (内訳) ・決算額 5,800 ・人件費 968 (0.13人)	[概算コスト] 6,981 (内訳) ・予算額 6,000 ・人件費 981 (0.13人)
2	環境対応車導入推進・普及啓発事業	環境局 再生可能エネルギー推進課	啓発・広報	○事業開始年度 平成10年度 【概要】 自動車使用に伴う温室効果ガス排出の削減を図るため、公用車及び市営バスに環境対応車を率先して導入するほか、環境対応車の普及促進を図るため各種支援策を掲載したリーフレットを作成し、周知広報などを行う。 【対象者】 市民等 【具体的な活動内容】 ・公用車及び市営バスへの環境対応車の導入 ・環境対応車に関する周知広報 など	市単	[概算コスト] 768 (内訳) ・決算額 143 ・人件費 625 (0.08人)	[概算コスト] 762 (内訳) ・決算額 143 ・人件費 619 (0.08人)	[概算コスト] 758 (内訳) ・決算額 143 ・人件費 615 (0.08人)	[概算コスト] 820 (内訳) ・予算額 197 ・人件費 623 (0.08人)
3	環境対応車普及促進対策補助事業	環境局 再生可能エネルギー推進課	助成・育成	○事業開始年度 平成18年度 【概要】 自動車使用に伴う温室効果ガス排出の削減を図るため、環境対応車(天然ガストラック、ハイブリッドトラック)を導入する事業者に対して助成する。 【対象者】 市内事業者(法人・個人事業者) 【具体的な活動内容】 ・補助金交付事務 ・補助制度の周知広報等	市単	[概算コスト] 634 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 885 (内訳) ・決算額 100 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 1,078 (内訳) ・決算額 300 ・人件費 778 (0.10人)	[概算コスト] 1,074 (内訳) ・予算額 300 ・人件費 774 (0.10人)
4	新南部清掃工場(ごみ焼却施設・バイオガス施設)整備・運営事業	環境局 南部清掃工場	その他	○事業開始年度 平成24年度 【概要】 循環型社会及び低炭素社会の構築を推進するため、経年的な劣化が進んでいる南部清掃工場を、生ごみ等からバイオガスを発生させる施設と併せて一体整備する。 【対象者】 - 【具体的な活動内容】 ・27年度:基本設計作成 ・28~29年度:事業者選定業務 ・30~33年度:実施設計監理、施工監理 ・34~53年度:運営業務(モニタリング)	国補助	[概算コスト] 92,125 (内訳) ・決算額 54,599 ・人件費 37,526 (4.80人)	[概算コスト] 62,933 (内訳) ・決算額 25,786 ・人件費 37,147 (4.80人)	[概算コスト] 58,795 (内訳) ・決算額 21,917 ・人件費 36,878 (4.80人)	[概算コスト] 1,011,458 (内訳) ・予算額 974,085 ・人件費 37,373 (4.80人)
5	ゼロエネルギー住宅等整備促進事業	環境局 再生可能エネルギー推進課	助成・育成	○事業開始年度 平成28年度 【概要】 住宅等の省エネルギー化及び暮らしの低炭素化の推進を図るため、個人住宅への太陽光発電システムとホーム・エネルギー・マネジメント・システム(HEMS)の併置等や、賃貸の共同住宅や環境管理事業所等への太陽光発電システムの設置を行う市民等に対して助成する。 【対象者】 市民等 【具体的な活動内容】 ・補助金交付事務 ・補助制度の周知広報等	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 - ・人件費 -	[概算コスト] 60,064 (内訳) ・決算額 53,785 ・人件費 6,279 (0.80人)	[概算コスト] 58,131 (内訳) ・決算額 51,910 ・人件費 6,221 (0.80人)	[概算コスト] 68,123 (内訳) ・予算額 61,930 ・人件費 6,193 (0.80人)
6	かごしま環境未来館管理運営事業	環境局 環境政策課	啓発・広報	○事業開始年度 平成27年度 【概要】 市民の環境意識の向上を図るため、参加体験型の環境学習講座等の各種事業を通じ、市民、市民活動団体や事業者との協働・連携をさらに深める。 【対象者】 市民 【具体的な活動内容】 かごしま環境未来館を拠点として「地域まるごと共育講座」等の参加体験型の環境学習講座や、「城西マルシェ」等のイベント・企画展等を実施	市単	[概算コスト] 162,330 (内訳) ・決算額 160,766 ・人件費 1,564 (0.20人)	[概算コスト] 181,472 (内訳) ・決算額 179,924 ・人件費 1,548 (0.20人)	[概算コスト] 184,973 (内訳) ・決算額 183,436 ・人件費 1,537 (0.20人)	[概算コスト] 183,123 (内訳) ・予算額 181,566 ・人件費 1,557 (0.20人)

2-1 低炭素社会の構築

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
補助件数 (単位:件)	[目標値] 60 [実績値] 39 〈達成率〉 65.0%	[目標値] 60 [実績値] 51 〈達成率〉 85.0%	[目標値] 60 [実績値] 58 〈達成率〉 96.7%	[目標値] 60	環境対応車のうち次世代自動車の普及率 (単位:%)	[目標値] 23 [実績値] 31 〈達成率〉 134.8%	[目標値] 25 [実績値] 30 〈達成率〉 120.0%	[目標値] 27 [実績値] 32 〈達成率〉 118.5%	[目標値] 29	A	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照
買い替え及び新規に購入する公用車のうち、環境対応車の導入割合 (単位:%)	[目標値] 90 [実績値] 89 〈達成率〉 98.8%	[目標値] 90 [実績値] 89 〈達成率〉 98.3%	[目標値] 90 [実績値] 98 〈達成率〉 108.6%	[目標値] 90	環境対応車のうち次世代自動車の普及率 (単位:%)	[目標値] 23 [実績値] 31 〈達成率〉 134.8%	[目標値] 25 [実績値] 30 〈達成率〉 120.0%	[目標値] 27 [実績値] 32 〈達成率〉 118.5%	[目標値] 29	A	A	継続 (理由) 公用車及び市営バスに環境対応車を率先して導入し、また、市民・事業者へ環境対応車の普及促進を図り、自動車使用に伴う温室効果ガス排出削減を行うために必要な事業である。
補助件数 (単位:件)	[目標値] 10 [実績値] 0 〈達成率〉 0.0%	[目標値] 3 [実績値] 1 〈達成率〉 33.3%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3	環境対応車のうち次世代自動車の普及率 (単位:%)	[目標値] 23 [実績値] 31 〈達成率〉 134.8%	[目標値] 25 [実績値] 30 〈達成率〉 120.0%	[目標値] 27 [実績値] 32 〈達成率〉 118.5%	[目標値] 29	A	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照
事業進捗(事業費ベース) (単位:千円)	[目標値] 54,599 [実績値] 54,599 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 25,786 [実績値] 25,786 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 21,917 [実績値] 21,917 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 974,085	ごみ処理施設の機能強化、資源循環型社会及び低炭素社会の構築への貢献	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	A	A	継続 (理由) ごみの安定的かつ適正な処理とエネルギーの有効利用を図るため、必要な事業である。
住宅用太陽光発電システムの補助件数 (単位:件)	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 400 [実績値] 385 〈達成率〉 96.3%	[目標値] 398 [実績値] 374 〈達成率〉 94.0%	[目標値] 400	住宅用太陽光発電システム設置件数(出力合計) (単位:件・kW) ※これまでの累計で実績値を記載	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 15,000 (60,000) 11,298 (47,505) 75.3%	[目標値] 17,000 (68,000) 11,672 (49,293) 68.7%	[目標値] 19,000 (76,000)	A	A	継続 (理由) 住宅等への太陽光発電システム等の設置に対して助成することで、省エネルギー化及び暮らしの低炭素化の推進を図るため、必要な事業である。 なお、目標達成できるよう引き続き取り組むこと。
未来館講座の受講者数 (単位:人)	[目標値] 2,803 [実績値] 2,740 〈達成率〉 97.8%	[目標値] 2,803 [実績値] 2,901 〈達成率〉 103.5%	[目標値] 2,815 [実績値] 2,835 〈達成率〉 100.7%	[目標値] 2,825	利用者数 (単位:人)	[目標値] 100,000 [実績値] 112,804 〈達成率〉 112.8%	[目標値] 100,000 [実績値] 119,553 〈達成率〉 119.6%	[目標値] 100,000 [実績値] 125,297 〈達成率〉 125.3%	[目標値] 100,000	A	A	継続 (理由) 市民の環境意識の向上を図るため、必要な事業である。 なお、リニューアルに合わせ、的確にニーズを捉え、多くの新規来館者やリピーターが訪れるよう、講座・イベントの充実に取り組むこと。

2-1 低炭素社会の構築

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
7	電動アシスト自転車普及促進事業	環境局 再生可能エネルギー推進課	助成・育成	<p>○事業開始年度 平成21年度</p> <p>【概要】 自動車使用を抑制し、温室効果ガス排出の削減を図るため、電動アシスト自転車を購入する市民に対して助成する。</p> <p>【対象者】 市民</p> <p>【具体的な活動内容】 ・補助金交付事務 ・補助制度の周知広報等</p>	市単	[概算コスト] 16,903 (内訳) ・決算額 12,609 ・人件費 4,294 (0.54人)	[概算コスト] 21,322 (内訳) ・決算額 17,068 ・人件費 4,254 (0.54人)	[概算コスト] 9,725 (内訳) ・決算額 5,510 ・人件費 4,215 (0.54人)	[概算コスト] 10,196 (内訳) ・予算額 6,000 ・人件費 4,196 (0.54人)
8	環境管理事業所サポート事業	環境局 環境保全課	助成・育成	<p>○事業開始年度 平成26年度</p> <p>【概要】 環境管理事業所制度の普及・促進を図るため、LED照明等環境配慮設備を設置する環境管理事業所に対して助成する。</p> <p>【対象者】 環境管理事業所</p> <p>【具体的な活動内容】 環境管理事業所が、環境配慮設備(LED照明等)の設置を行う際に、設置費用の1/2以内(上限20万円)を助成する。</p>	市単	[概算コスト] 3,603 (内訳) ・決算額 2,274 ・人件費 1,329 (0.17人)	[概算コスト] 3,515 (内訳) ・決算額 2,199 ・人件費 1,316 (0.17人)	[概算コスト] 3,530 (内訳) ・決算額 2,224 ・人件費 1,306 (0.17人)	[概算コスト] 3,564 (内訳) ・予算額 2,240 ・人件費 1,324 (0.17人)

2-1 低炭素社会の構築

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
補助件数 (単位:件)	[目標値] 600 [実績値] 632 〈達成率〉 105.3%	[目標値] 600 [実績値] 854 〈達成率〉 142.3%	[目標値] 600 [実績値] 551 〈達成率〉 91.8%	[目標値] 600	自動車・バイクからの乗換えの割合 (単位:%)	[目標値] 70 [実績値] 100 〈達成率〉 142.4%	[目標値] 70 [実績値] 98 〈達成率〉 140.4%	[目標値] 70 [実績値] 99 〈達成率〉 140.8%	[目標値] 70	G	F	廃止 (理由) ※外部評価報告書参照
環境配慮設備補助件数 (単位:件)	[目標値] 10 [実績値] 12 〈達成率〉 120.0%	[目標値] 10 [実績値] 12 〈達成率〉 120.0%	[目標値] 10 [実績値] 11 〈達成率〉 110.0%	[目標値] 11	年度末における認定事業所数 (単位:件)	[目標値] 900 [実績値] 477 〈達成率〉 53.0%	[目標値] 1,000 [実績値] 485 〈達成率〉 48.5%	[目標値] 1,100 [実績値] 492 〈達成率〉 44.7%	[目標値] 1,200	A	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照

2-3 うるおい空間の創出

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
9	生物多様性地域戦略推進事業	環境局 環境保全課	助成・育成	○事業開始年度 平成23年度 【概要】 本市の生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を推進するため、生物多様性地域戦略に基づき、市民活動団体等の自主的、継続的な保全活動の支援等を行う。 【対象者】 市、事業者、市民 【具体的な活動内容】 ・地域戦略の進行管理 ・国際生物多様性の日(5月22日)を契機とした普及啓発の実施 ・生物多様性保全活動の推進	市単	[概算コスト] 6,449 (内訳) ・決算額 3,556 ・人件費 2,893 (0.37人)	[概算コスト] 4,048 (内訳) ・決算額 1,185 ・人件費 2,863 (0.37人)	[概算コスト] 3,748 (内訳) ・決算額 905 ・人件費 2,843 (0.37人)	[概算コスト] 3,855 (内訳) ・予算額 974 ・人件費 2,881 (0.37人)
10	自然保護事業	環境局 環境保全課	施設維持・管理	○事業開始年度 昭和47年度 【概要】 市民が山歩き等を通じて、美しい自然に接し、心身の健康を増進するとともに、より自然愛護の意識を高めるため、自然遊歩道等の維持管理を行う。 【対象者】 一般市民 【具体的な活動内容】 ・イラストマップの作成 ・道標・案内板の設置 ・草刈り・清掃などの維持管理業務 ・自然遊歩道協力員制度を活用した巡視	市単	[概算コスト] 5,575 (内訳) ・決算額 2,917 ・人件費 2,658 (0.34人)	[概算コスト] 5,365 (内訳) ・決算額 2,734 ・人件費 2,631 (0.34人)	[概算コスト] 4,471 (内訳) ・決算額 1,859 ・人件費 2,612 (0.34人)	[概算コスト] 5,032 (内訳) ・予算額 2,385 ・人件費 2,647 (0.34人)
11	城山公園自然の森再生事業	建設局 公園緑化課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成24年度 【概要】 国の天然記念物及び史跡に指定されている城山を守り活かしていくため、外来種の駆除及び園路整備を実施するほか、保存活用計画の策定を行う。 【対象者】 市民等 【具体的な活動内容】 ・外来種(トウチク、ハヤトウリ、モウソウチク)の駆除 ・園路整備(約1,600m) ・「城山公園の保全に関する検討委員会」の開催(年1回) ・保存活用計画の策定	国・県補助	[概算コスト] 36,558 (内訳) ・決算額 34,056 ・人件費 2,502 (0.32人)	[概算コスト] 37,125 (内訳) ・決算額 34,649 ・人件費 2,476 (0.32人)	[概算コスト] 30,421 (内訳) ・決算額 27,962 ・人件費 2,459 (0.32人)	[概算コスト] 62,484 (内訳) ・予算額 59,992 ・人件費 2,492 (0.32人)
12	花と緑のいきいき事業	建設局 公園緑化課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成23年度 昭和52年度(旧 緑地維持管理事業) 【概要】 鹿児島らしい雰囲気のあるいきいきとした花や緑の創出を図るため、うるおいと安らぎを与える花と緑の適正な育成等の維持管理を行う。 【対象者】 市民等 【具体的な活動内容】 ・市設花壇の維持管理(四季の草花等の植え付けなど) ・街路樹等緑地の維持管理(剪定、刈り込み、除草など)	市単	[概算コスト] 352,433 (内訳) ・決算額 346,804 ・人件費 5,629 (0.72人)	[概算コスト] 361,410 (内訳) ・決算額 355,838 ・人件費 5,572 (0.72人)	[概算コスト] 366,721 (内訳) ・決算額 361,189 ・人件費 5,532 (0.72人)	[概算コスト] 381,166 (内訳) ・予算額 375,560 ・人件費 5,606 (0.72人)
13	都市公園再整備事業	建設局 公園緑化課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成4年度 【概要】 子供から高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を図るため、公園施設の改良や危険箇所及び緊急対応を要する箇所の補修等を行う。 【対象者】 市民 【具体的な活動内容】 ・老朽化した施設の更新や公園の広場や遊具、防護柵などの公園施設の改良及び維持補修など	市単	[概算コスト] 47,078 (内訳) ・決算額 42,074 ・人件費 5,004 (0.64人)	[概算コスト] 41,611 (内訳) ・決算額 36,658 ・人件費 4,953 (0.64人)	[概算コスト] 32,124 (内訳) ・決算額 27,207 ・人件費 4,917 (0.64人)	[概算コスト] 41,483 (内訳) ・予算額 36,500 ・人件費 4,983 (0.64人)
14	都市公園安心安全対策推進事業	建設局 公園緑化課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成21年度 【概要】 市民の視点に立った安心で質の高い暮らしを実現するため、都市公園におけるバリアフリー化や老朽化した施設の改築・更新を行い、誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を図る。 【対象者】 市民 【具体的な活動内容】 ・都市公園の園路やトイレ等のバリアフリー化 ・バリアフリー化:傾斜路の設置、多目的トイレの設置 等 ・遊具、管理施設等公園施設の改築・更新	国補助	[概算コスト] 61,192 (内訳) ・決算額 57,439 ・人件費 3,753 (0.48人)	[概算コスト] 91,093 (内訳) ・決算額 87,378 ・人件費 3,715 (0.48人)	[概算コスト] 71,624 (内訳) ・決算額 67,936 ・人件費 3,688 (0.48人)	[概算コスト] 85,133 (内訳) ・予算額 81,396 ・人件費 3,737 (0.48人)

2-3 うるおい空間の創出

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
生物多様性保全活動に係る企画提案の実施数 (単位:件)	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 3 〈達成率〉 150.0%	[目標値] 2	生物多様性地域戦略に掲げる行動計画の実施項目数 (単位:件)	[目標値] 61 [実績値] 59 〈達成率〉 96.7%	[目標値] 61 [実績値] 59 〈達成率〉 96.7%	[目標値] 61 [実績値] 59 〈達成率〉 96.7%	[目標値] 69	A	A	継続 (理由) 本市の生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事業である。
自然遊歩道協力員巡視回数 (単位:回)	[目標値] 108 [実績値] 162 〈達成率〉 150.0%	[目標値] 108 [実績値] 156 〈達成率〉 144.4%	[目標値] 108 [実績値] 143 〈達成率〉 132.4%	[目標値] 108	自然遊歩道の補修・改善件数 (単位:件)	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 4 〈達成率〉 80.0%	[目標値] 7	A	A	継続 (理由) 自然遊歩道等の維持管理を行うことは、自然とのふれあいを促進し、人と自然との共生に関する意識の高揚を図るために必要な事業である。 なお、認知度が高まるようイラストマップの活用等による広報周知に努めること。
各年度における園路整備区間の延長 (単位:m)	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 280 [実績値] 280 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 320 [実績値] 320 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 340	園路整備区間の延長(累計) (単位:m)	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 380 [実績値] 380 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 700 [実績値] 700 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1,040	A	A	継続 (理由) 国の天然記念物及び史跡に指定されている城山を守り活かしていくために、必要な事業である。
花壇の維持管理業務発注件数 (単位:件)	[目標値] 12 [実績値] 12 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 10	維持管理している花壇の面積 (単位:m ²)	[目標値] 5,720 [実績値] 5,720 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5,720 [実績値] 5,720 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5,724 [実績値] 5,724 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5,724	A	A	継続 (理由) 市内に設置された花壇の維持管理や街路樹等緑地の維持管理のために、必要な事業である。
施設改良を行った公園数 (単位:公園)	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6	公園内における事故の未発生日数 (単位:日)	[目標値] 366 [実績値] 365 〈達成率〉 99.7%	[目標値] 365 [実績値] 365 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 365 [実績値] 363 〈達成率〉 99.5%	[目標値] 365	A	A	継続 (理由) 都市公園の安全性や利便性・快適性の向上を図るため、必要な事業である。 なお、公園施設については、安全確保のための十分な点検を行うこと。
バリアフリー化を行った公園数 (単位:公園)	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2	公園内における事故の未発生日数 (単位:日)	[目標値] 366 [実績値] 365 〈達成率〉 99.7%	[目標値] 365 [実績値] 365 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 365 [実績値] 363 〈達成率〉 99.5%	[目標値] 365	A	A	継続 (理由) 誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を図るために、必要な事業である。

3-1 地域特性を生かした観光・交流の推進

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
15	観光かごしま大 キャンペーン推進 事業	観光交流局 観光プロモーション課	啓発・広報	○事業開始年度 平成21年度 【概要】 県や関係自治体と連携して観光キャンペーン等を実施し、首都圏・関西・中国地区等からの誘客を図るため、観光かごしま大キャンペーン推進協議会に対し、負担金を支出する。 【対象者】 観光客 【具体的な活動内容】 ・明治維新150周年カウントダウンキャンペーン ・新幹線沿線からの効果的な誘客 ・「西郷どん」キャンペーン	市単	[概算コスト] 10,313 (内訳) ・決算額 10,000 ・人件費 313 (0.04人)	[概算コスト] 10,310 (内訳) ・決算額 10,000 ・人件費 310 (0.04人)	[概算コスト] 15,307 (内訳) ・決算額 15,000 ・人件費 307 (0.04人)	[概算コスト] 10,311 (内訳) ・予算額 10,000 ・人件費 311 (0.04人)
16	観光印刷物等活用 宣伝事業	観光交流局 観光プロモーション課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和55年度 【概要】 本市観光の振興を図るため、本市の認知度の向上、本市への観光動機の形成、または、実際に訪問した観光客への現地情報提供等の機能を持つ印刷物を活用する。 【対象者】 観光客等 【具体的な活動内容】 ・パンフレット等の増刷・発送等	市単	[概算コスト] 27,325 (内訳) ・決算額 26,700 ・人件費 625 (0.08人)	[概算コスト] 17,241 (内訳) ・決算額 16,235 ・人件費 1,006 (0.13人)	[概算コスト] 18,601 (内訳) ・決算額 17,986 ・人件費 615 (0.08人)	[概算コスト] 21,286 (内訳) ・予算額 20,274 ・人件費 1,012 (0.13人)
17	錦江湾潮風フェスタ の開催	観光交流局 観光振興課	イベント	○事業開始年度 平成26年度 【概要】 多くの観光客や市民に、本市の貴重な観光資源である錦江湾や桜島の魅力を感じてもらうため、「錦江湾潮風フェスタ」を開催する。 【対象者】 市民、観光客 【具体的な活動内容】 ・芝生広場:ステージイベント、飲食&PRブースほか ・水族館:タレントによるトークショー、イルカウォッチング ・北ふ頭:鹿大練習船南星丸船内見学 ・磯海水浴場:ヨット体験	市単	[概算コスト] 10,902 (内訳) ・決算額 9,000 ・人件費 1,902 (0.24人)	[概算コスト] 8,884 (内訳) ・決算額 7,000 ・人件費 1,884 (0.24人)	[概算コスト] 8,866 (内訳) ・決算額 7,000 ・人件費 1,866 (0.24人)	[概算コスト] 8,858 (内訳) ・予算額 7,000 ・人件費 1,858 (0.24人)
18	“世界を視野に”外 国人観光客誘致宣 伝事業	観光交流局 観光プロモーション課	啓発・広報	○事業開始年度 平成21年度 【概要】 東アジア等からの観光客誘致を図るために、関係機関と連携を図りながら、効果的な誘致を行う。 【対象者】 海外旅行会社、外国人観光客 【具体的な活動内容】 ・観光プロモーション ・誘致セールス ・海外観光客誘致事業補助金 本市へ送客する海外旅行社へ1,000円/泊の補助を行う。(最大30万円) ・さきどり情報の発信	市単	[概算コスト] 25,704 (内訳) ・決算額 20,950 ・人件費 4,754 (0.60人)	[概算コスト] 19,028 (内訳) ・決算額 14,319 ・人件費 4,709 (0.60人)	[概算コスト] 21,937 (内訳) ・決算額 17,271 ・人件費 4,666 (0.60人)	[概算コスト] 22,305 (内訳) ・予算額 17,660 ・人件費 4,645 (0.60人)
19	外国人観光客受入 事業	観光交流局 観光プロモーション課	助成・育成	○事業開始年度 平成25年度 【概要】 本市を訪れる外国人観光客の満足度を高めるため、外国人観光客の視点に立ったきめ細やかな受入体制づくりを推進する。 【対象者】 ・本市を訪れる外国人観光客 ・宿泊施設、観光施設などの民間事業者 【具体的な活動内容】 ・海外観光客受入体制整備費の助成(観光施設等が設置する外国語案内板やWifi整備に要する費用の一部を助成するもの) ・外国語版ガイドマップの作成 ・公衆無線LANの整備・運用	市単	[概算コスト] 10,645 (内訳) ・決算額 9,081 ・人件費 1,564 (0.20人)	[概算コスト] 7,825 (内訳) ・決算額 6,277 ・人件費 1,548 (0.20人)	[概算コスト] 10,301 (内訳) ・決算額 8,764 ・人件費 1,537 (0.20人)	[概算コスト] 7,476 (内訳) ・予算額 5,919 ・人件費 1,557 (0.20人)
20	姉妹友好都市等と の交流事業	総務局 国際交流課	その他	○事業開始年度 昭和35年度 【概要】 姉妹都市、友好都市、兄弟都市、その他外国等との交流の促進を図るため、海外等からの来訪者の受入及び訪問団の派遣を行う。 【対象者】 海外等からの来訪者、交流事業に関わる市民 など 【具体的な活動内容】 ・海外等からの来訪者の受入 ・訪問団の派遣 ・長沙市からの研修生の受入(延べ4人まで) など	市単	[概算コスト] 20,275 (内訳) ・決算額 13,239 ・人件費 7,036 (0.90人)	[概算コスト] 27,692 (内訳) ・決算額 20,727 ・人件費 6,965 (0.90人)	[概算コスト] 20,665 (内訳) ・決算額 13,750 ・人件費 6,915 (0.90人)	[概算コスト] 24,066 (内訳) ・予算額 17,059 ・人件費 7,007 (0.90人)

3-1 地域特性を生かした観光・交流の推進

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
取組事業数 (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	宿泊観光客数 (単位:千人)	[目標値] 3,500 [実績値] 3,411 〈達成率〉 97.5%	[目標値] 3,500 [実績値] 3,535 〈達成率〉 101.0%	[目標値] 3,800 [実績値] 3,792 〈達成率〉 99.8%	[目標値] 3,800	A	B	見直し (理由) 県や関係自治体と連携して、観光客誘致を図るため、必要な事業であるが、負担金支出について見直すべきである。
郵送配布部数 (単位:部)	[目標値] 300,000 [実績値] 277,453 〈達成率〉 92.5%	[目標値] 300,000 [実績値] 290,222 〈達成率〉 96.7%	[目標値] 300,000 [実績値] 297,345 〈達成率〉 99.1%	[目標値] 300,000	宿泊観光客数 (単位:千人)	[目標値] 3,500 [実績値] 3,410 〈達成率〉 97.4%	[目標値] 3,500 [実績値] 3,535 〈達成率〉 101.0%	[目標値] 3,800 [実績値] 3,792 〈達成率〉 99.8%	[目標値] 3,800	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
イベントメニュー数 (単位:個)	[目標値] 28 [実績値] 28 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 33 [実績値] 0 〈達成率〉 0.0%	[目標値] 28 [実績値] 28 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 27	イベントの来場者数 (単位:人)	[目標値] 50,000 [実績値] 60,000 〈達成率〉 120.0%	[目標値] 50,000 [実績値] 0 〈達成率〉 0.0%	[目標値] 35,000 [実績値] 38,000 〈達成率〉 108.6%	[目標値] 38,000	A	A	継続 (理由) 第3期鹿児島市観光未来戦略の錦江湾を生かした海を体感するメニューづくりを推進するイベントである「錦江湾潮風フェスタ」は市民や観光客に錦江湾や桜島の魅力を実感してもらう機会を提供するために必要な事業である。
誘致セールス回数 (単位:回)	[目標値] 4 [実績値] 5 〈達成率〉 125.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5	外国人宿泊観光客数 (単位:人)	[目標値] 160,000 [実績値] 195,381 〈達成率〉 122.1%	[目標値] 160,000 [実績値] 267,125 〈達成率〉 167.0%	[目標値] 300,000 [実績値] 352,836 〈達成率〉 117.6%	[目標値] 300,000	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
公衆無線LANを導入した公共施設数 (単位:件)	[目標値] 7 [実績値] 12 〈達成率〉 171.4%	[目標値] 8 [実績値] 13 〈達成率〉 162.5%	[目標値] 16 [実績値] 16 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 16	外国人宿泊観光客数 (単位:人)	[目標値] 160,000 [実績値] 195,381 〈達成率〉 122.1%	[目標値] 160,000 [実績値] 267,125 〈達成率〉 167.0%	[目標値] 300,000 [実績値] 352,836 〈達成率〉 117.6%	[目標値] 300,000	A	A	継続 (理由) 外国人観光客の視点に立ったきめ細やかな受入体制づくりを推進することは、本市を訪れる外国人観光客の満足度を高めるため、必要な事業である。
国または都市と交流を図った回数 (単位:件)	[目標値] 41 [実績値] 57 〈達成率〉 139.0%	[目標値] 41 [実績値] 44 〈達成率〉 107.3%	[目標値] 41 [実績値] 61 〈達成率〉 148.8%	[目標値] 41	海外等からの来訪者受入人数 (単位:人)	[目標値] 439 [実績値] 506 〈達成率〉 115.3%	[目標値] 439 [実績値] 402 〈達成率〉 91.6%	[目標値] 439 [実績値] 394 〈達成率〉 89.7%	[目標値] 439	A	A	継続 (理由) 姉妹友好都市等との親善を深め、交流を促進するため、必要な事業である。

3-1 地域特性を生かした観光・交流の推進

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
21	青少年の翼事業	総務局 国際交流課	助成・育成	○事業開始年度 平成2年度 【概要】 外国との親善を深めるとともに、外国の歴史や文化に触れることで、国際性豊かな人材の育成を図るため、次代を担う青少年を海外へ派遣する。 【対象者】 本市在住の青少年 【具体的な活動内容】 ・海外への派遣 ①マイアミ市(中学生8名)、②マラッカ市(中高生8名) ③パース市(高校生8名)、④長沙市(高校大学生等8名) ⑤ナポリ市(高校大学生等8名)	市単	[概算コスト] 14,637 (内訳) ・決算額 10,728 ・人件費 3,909 (0.50人)	[概算コスト] 14,740 (内訳) ・決算額 10,870 ・人件費 3,870 (0.50人)	[概算コスト] 16,161 (内訳) ・決算額 12,319 ・人件費 3,842 (0.50人)	[概算コスト] 17,354 (内訳) ・予算額 13,461 ・人件費 3,893 (0.50人)
22	かごしまソフトバレーボール大会の開催	観光交流局 スポーツ課	イベント	○事業開始年度 平成18年度 【概要】 スポーツを通じた観光交流の促進及び生涯スポーツの推進を図るため、大会を実施している実行委員会へ補助金を交付する。 【対象者】 かごしまソフトバレーボール大会実行委員会 【具体的な内容】 年に2回、桜島と松元で開催されるソフトバレーボール大会を主管する大会実行委員会に対し、補助金を交付するもの。	市単	[概算コスト] 3,064 (内訳) ・決算額 1,500 ・人件費 1,564 (0.20人)	[概算コスト] 1,774 (内訳) ・決算額 1,000 ・人件費 774 (0.10人)	[概算コスト] 1,768 (内訳) ・決算額 1,000 ・人件費 768 (0.10人)	[概算コスト] 1,779 (内訳) ・予算額 1,000 ・人件費 779 (0.10人)
23	合宿・大会誘致推進補助事業	観光交流局 スポーツ課	助成・育成	○事業開始年度 平成20年度 【概要】 本市の魅力に触れてもらう機会を増やし、観光振興につなげるため、県外団体が本市で行う合宿及び大会参加の宿泊費を助成する。 【対象者】 県外にある大学の運動系及び文化系の団体 【具体的な活動内容】 ・合宿及びスポーツ大会参加団体への補助金交付 ・誘致セールス ・合宿宿泊プラン造成の働きかけ	市単	[概算コスト] 5,791 (内訳) ・決算額 3,810 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 5,289 (内訳) ・決算額 3,327 ・人件費 1,962 (0.25人)	[概算コスト] 5,633 (内訳) ・決算額 3,689 ・人件費 1,944 (0.25人)	[概算コスト] 6,035 (内訳) ・予算額 4,100 ・人件費 1,935 (0.25人)
24	観光農業公園管理運営事業	観光交流局 グリーンツーリズム推進課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成24年度 【概要】 豊かな農村地域を活かしたグリーン・ツーリズムの推進を図るため、拠点施設である観光農業公園の運営及び維持管理を行う。 【対象者】 市民、観光客 【具体的な活動内容】 ・企画運営指導員、運営嘱託員による体験プログラム等の受付等 ・施設の維持管理 ・滞在型市民農園の維持管理	市単	[概算コスト] 101,686 (内訳) ・決算額 82,671 ・人件費 19,015 (2.40人)	[概算コスト] 98,760 (内訳) ・決算額 79,922 ・人件費 18,838 (2.40人)	[概算コスト] 98,910 (内訳) ・決算額 80,248 ・人件費 18,662 (2.40人)	[概算コスト] 100,880 (内訳) ・予算額 82,302 ・人件費 18,578 (2.40人)
25	ぐるっとかごしまスタンプラリー事業	市民局 支所(吉田・桜島・喜入・松元・郡山)の総務市民課	市民参画	○事業開始年度 平成19年度 【概要】 地域の特性や魅力を有する施設及び地域行事等を広く市民に情報発信し、さらなる地域間交流及び地域振興を図るためスタンプラリーを実施する。 【対象者】 市民及び観光客 【具体的な活動内容】 ・7月1日～12月18日の期間中、市内43カ所をラリーポイントとしてスタンプ及び台紙を設置 ・押印したエリア数とスタンプ数に応じた入賞基準により抽選を行い、賞品を贈呈	市単	[概算コスト] 4,094 (内訳) ・決算額 2,218 ・人件費 1,876 (0.24人)	[概算コスト] 4,314 (内訳) ・決算額 2,457 ・人件費 1,857 (0.24人)	[概算コスト] 4,250 (内訳) ・決算額 2,406 ・人件費 1,844 (0.24人)	[概算コスト] 4,521 (内訳) ・予算額 2,652 ・人件費 1,869 (0.24人)

3-1 地域特性を生かした観光・交流の推進

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
派遣者数 (単位:人)	[目標値] 40 [実績値] 32 〈達成率〉 80.0%	[目標値] 40 [実績値] 40 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 40 [実績値] 41 〈達成率〉 102.5%	[目標値] 40	派遣された青少年に実施したアンケートで国際交流活動への参加を希望した割合 (単位:%)	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 100	A	A	継続 (理由) 青少年を海外等へ派遣し、姉妹友好都市等との交流を深めることは、本市の国際交流の促進に寄与するとともに、国際性豊かな人材の育成に資するために必要な事業である。 なお、派遣された青少年の国際交流活動等への参加状況の把握に努めること。
大会開催回数 (単位:回)	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2	大会参加者数 (単位:人)	[目標値] 937 [実績値] 851 〈達成率〉 90.8%	[目標値] 937 [実績値] 825 〈達成率〉 88.0%	[目標値] 937 [実績値] 594 〈達成率〉 63.4%	[目標値] 937	B	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照
本市で合宿及び大会参加を行い、本補助金の助成を受けた団体数 (単位:件)	[目標値] 30 [実績値] 28 〈達成率〉 93.3%	[目標値] 30 [実績値] 29 〈達成率〉 96.7%	[目標値] 30 [実績値] 33 〈達成率〉 110.0%	[目標値] 35	本市で合宿及び大会参加を行い、助成を受けた団体の総宿泊数 (単位:泊)	[目標値] 4,000 [実績値] 3,513 〈達成率〉 87.8%	[目標値] 4,000 [実績値] 3,204 〈達成率〉 80.1%	[目標値] 4,000 [実績値] 3,586 〈達成率〉 89.7%	[目標値] 4,000	A	B	見直し (理由) 県外の大学生を誘致することは、本市の観光振興等に資するため必要な事業であるが、総宿泊数が目標に達していないことから、団体数や1団体あたりの宿泊数が増加するよう、誘致活動を効果的なものに見直すべきである。
施設の開園日数 (単位:日)	[目標値] 362 [実績値] 359 〈達成率〉 99.2%	[目標値] 361 [実績値] 357 〈達成率〉 98.9%	[目標値] 361 [実績値] 357 〈達成率〉 98.9%	[目標値] 361	来園者数 (単位:人)	[目標値] 193,000 [実績値] 192,996 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 198,000 [実績値] 190,502 〈達成率〉 96.2%	[目標値] 203,000 [実績値] 182,052 〈達成率〉 89.7%	[目標値] 208,000	A	B	見直し (理由) 豊かな農村地域を活かしたグリーン・ツーリズムの拠点施設を維持管理するために必要な事業であるが、より効率的に運営ができるよう、指定管理者制度導入に向けて取り組みむべきである。 また、来園者数が目標値に達していないことから、来園者数増につながるイベントや情報発信に取り組むべきである。
スタンプラリー台紙の配付枚数 (単位:枚)	[目標値] 不明 [実績値] 不明 〈達成率〉	[目標値] 32,200 [実績値] 32,200 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 37,500 [実績値] 37,500 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 38,000	スタンプラリーポイントへの訪問者数(延べ人数) (単位:人)	[目標値] 48,923 [実績値] 48,923 〈達成率〉	[目標値] 48,923 [実績値] 48,923 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 79,759 [実績値] 79,759 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 80,000	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照

3-2 中心市街地の活性化

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
26	中心市街地活性化推進事業	産業局 産業政策課	その他	○事業開始年度 平成19年度 【概要】 都市機能の増進及び経済活力の向上を促進するため、第3期鹿児島市中心市街地活性化基本計画の推進及び中心市街地活性化協議会に対する支援等を行う。 【対象者】 中心市街地に関わる事業者 【具体的な活動内容】 (1)第2期計画の最終フォローアップ ・第2期計画の数値目標や計画掲載事業の達成状況の最終フォローアップ (2)第3期計画の推進等 ・第3期計画の計画変更、フォローアップ (3)中活協議会に対する支援 (4)庁内推進調整会議及び同幹事会の運営	市単	[概算コスト] 20,690 (内訳) ・決算額 5,054 ・人件費 15,636 (2.00人)	[概算コスト] 19,237 (内訳) ・決算額 3,759 ・人件費 15,478 (2.00人)	[概算コスト] 20,920 (内訳) ・決算額 5,554 ・人件費 15,366 (2.00人)	[概算コスト] 19,530 (内訳) ・予算額 3,958 ・人件費 15,572 (2.00人)
27	街なかサービス推進事業	産業局 産業支援課	その他	○事業開始年度 平成24年度 【概要】 中心市街地における来街者の利便性と回遊性の向上を図るため、天まちサロンにおいて観光・イベント情報の提供やベビーカー貸出など街なかサービスのほか、特産品等の展示などを行う。 【対象者】 市民・観光客等 【具体的な活動内容】 下記の業務を委託し実施 ・来街者サービス(ベビーカー貸出、手荷物預かり等) ・授乳室及びトイレの開放 ・観光情報、特産品等の情報提供 ・特産品等の展示	市単	[概算コスト] 32,282 (内訳) ・決算額 32,044 ・人件費 238 (0.03人)	[概算コスト] 23,364 (内訳) ・決算額 23,129 ・人件費 235 (0.03人)	[概算コスト] 19,846 (内訳) ・決算額 19,613 ・人件費 233 (0.03人)	[概算コスト] 19,823 (内訳) ・予算額 19,591 ・人件費 232 (0.03人)
28	鹿児島ぶらりまち歩き推進事業	観光交流局 観光プロモーション課	助成・育成	○事業開始年度 平成18年度 【概要】 ボランティアガイドの案内を聞きながら気軽に鹿児島の歴史や文化を楽しめる「鹿児島ぶらりまち歩き」等における観光案内を行う鹿児島観光コンベンション協会に対し、助成する。 【対象者】 観光客 【具体的な活動内容】 ・かごしまボランティアガイドの運営 ・鹿児島ぶらりまち歩きの運営 ・その他	市単	[概算コスト] 24,464 (内訳) ・決算額 24,151 ・人件費 313 (0.04人)	[概算コスト] 21,910 (内訳) ・決算額 21,600 ・人件費 310 (0.04人)	[概算コスト] 25,163 (内訳) ・決算額 24,856 ・人件費 307 (0.04人)	[概算コスト] 28,904 (内訳) ・予算額 28,593 ・人件費 311 (0.04人)
29	天文館ミリオネーションの開催	観光交流局 観光振興課	イベント	○事業開始年度 平成27年度 【概要】 冬季の滞在型観光の推進を図るため、中心市街地に大規模なイルミネーションで光の空間を創り出す、冬のイベント「天文館ミリオネーション」を開催する。 【対象者】 観光客、市民等 【具体的な活動内容】 鹿児島最大の繁華街「天文館」を約100万球のLED電球で彩る大規模なイルミネーションイベントを開催	市単	[概算コスト] 90,845 (内訳) ・決算額 88,500 ・人件費 2,345 (0.30人)	[概算コスト] 90,822 (内訳) ・決算額 88,500 ・人件費 2,322 (0.30人)	[概算コスト] 90,805 (内訳) ・決算額 88,500 ・人件費 2,305 (0.30人)	[概算コスト] 90,836 (内訳) ・予算額 88,500 ・人件費 2,336 (0.30人)
30	頑張る商店街支援事業	産業局 産業支援課	助成・育成	○事業開始年度 平成19年度 【概要】 商店街の活性化を図るため、独自のアイデアや創意工夫を生かし実施するイベント等の事業に対して助成する。 【対象者】 商店街等 【具体的な活動内容】 ・補助率:1/2以内 ①総合支援型:年間400万円以内(補助対象期間:10年間) ②個別支援型:年間50万円以内	市単	[概算コスト] 40,735 (内訳) ・決算額 36,357 ・人件費 4,378 (0.56人)	[概算コスト] 41,259 (内訳) ・決算額 36,383 ・人件費 4,876 (0.63人)	[概算コスト] 44,162 (内訳) ・決算額 39,475 ・人件費 4,687 (0.61人)	[概算コスト] 48,329 (内訳) ・予算額 43,580 ・人件費 4,749 (0.61人)
31	新規創業者等育成支援事業	産業局 産業創出課	助成・育成	○事業開始年度 平成20年度 【概要】 ベンチャービジネスの展開や新規創業の促進を図るため、インキュベーション・マネージャーの配置やセミナー等を開催する。 【対象者】 創業を考えている人、創業間もない事業者、ソーホーかごしま及びソフトプラザかごしま入居者 【具体的な活動内容】 ・事業者の「発掘」から「創業の実現」、「事業の自立・拡大」まで一貫したサポートを行う ①IMIによるワンストップ相談窓口の設置 ②創業スキルに関するセミナー等の開催	市単	[概算コスト] 11,025 (内訳) ・決算額 9,461 ・人件費 1,564 (0.20人)	[概算コスト] 8,761 (内訳) ・決算額 7,213 ・人件費 1,548 (0.20人)	[概算コスト] 8,857 (内訳) ・決算額 7,320 ・人件費 1,537 (0.20人)	[概算コスト] 8,792 (内訳) ・予算額 7,235 ・人件費 1,557 (0.20人)

3-2 中心市街地の活性化

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
計画掲載事業の着手状況 (単位:事業)	[目標値] 72 [実績値] 72 <達成率> 100.0%	[目標値] 84 [実績値] 84 <達成率> 100.0%	[目標値] 87 [実績値] 87 <達成率> 100.0%	[目標値] 73 [実績値] 87 <達成率> 100.0%	歩行者通行量(30地点、土日) (単位:人/日)	[目標値] 171,000 [実績値] 161,137 <達成率> 94.2%	[目標値] 171,000 [実績値] 158,363 <達成率> 92.6%	[目標値] 171,000 [実績値] 156,110 <達成率> 91.3%	[目標値] 171,000	A	A	継続 (理由) 中心市街地の活性化を図るため、必要な事業である。 なお、市民の来街機会が減少していることから、目標達成のために民間事業のさらなる掘り起しなど、官民一体となり、取組内容の充実を図ること。
開館日 (単位:日)	[目標値] 363 [実績値] 363 <達成率> 100.0%	[目標値] 364 [実績値] 364 <達成率> 100.0%	[目標値] 363 [実績値] 362 <達成率> 99.7%	[目標値] 363	利用者 (単位:人)	[目標値] 85,000 [実績値] 85,034 <達成率> 100.0%	[目標値] 80,000 [実績値] 75,172 <達成率> 94.0%	[目標値] 80,000 [実績値] 80,993 <達成率> 101.2%	[目標値] 80,000	A	A	継続 (理由) 観光・イベント情報の提供やベビーカー貸出など街なかサービスのほか、特産品等の展示などを行うことは、中心市街地の活性化に必要な事業である。 なお、千日町1・4番街区市街地再開発ビルに設置が予定される市観光案内所での効率的な事業実施に向け検討を進めること。
ボランティアガイド数 (単位:人)	[目標値] 199 [実績値] 185 <達成率> 93.0%	[目標値] 185 [実績値] 243 <達成率> 131.4%	[目標値] 243 [実績値] 211 <達成率> 86.8%	[目標値] 211	まち歩きガイド案内客数 (単位:人)	[目標値] 6,000 [実績値] 9,982 <達成率> 166.4%	[目標値] 11,800 [実績値] 6,663 <達成率> 56.5%	[目標値] 8,442 [実績値] 9,644 <達成率> 114.2%	[目標値] 7,930	A	A	継続 (理由) 付加価値の高い観光コースを提供するとともに、観光ガイドの解説を受けながらまち歩きを楽しめる環境を整備することは、着地型観光の充実を図るために必要な事業である。
メイン会場点灯日数 (単位:日)	[目標値] 24 [実績値] 24 <達成率> 100.0%	[目標値] 24 [実績値] 29 <達成率> 120.8%	[目標値] 29 [実績値] 41 <達成率> 141.4%	[目標値] 42	来場者数 (単位:千人)	[目標値] 170 [実績値] 170 <達成率> 100.0%	[目標値] 170 [実績値] 185 <達成率> 108.8%	[目標値] 185 [実績値] 200 <達成率> 108.1%	[目標値] 200	A	B	見直し (理由) 冬のイベント「天文館ミリオネーション」を開催することは、冬季の滞在型観光の推進を図るため、必要な事業であるが、天文館全体のイベントとして発展するよう会場周辺の通り会の新たなイベントの掘り起しなど、より事業効果が高まるように見直すべきである。
補助申請団体数 (単位:件)	[目標値] 29 [実績値] 32 <達成率> 110.3%	[目標値] 32 [実績値] 35 <達成率> 109.4%	[目標値] 35 [実績値] 36 <達成率> 102.9%	[目標値] 36	商店街の活性化に寄与	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	A	B	見直し (理由) 商店街でのイベント開催等へ助成することは、商店街の活性化を図るために必要な事業であるが、補助期間の終了後に商店街等が自立した運営ができるような事業のあり方や支援のあり方に見直すべきである。
創業支援延べ件数 (単位:件)	[目標値] 200 [実績値] 160 <達成率> 80.0%	[目標値] 200 [実績値] 202 <達成率> 101.0%	[目標値] 200 [実績値] 185 <達成率> 92.5%	[目標値] 200	創業者数 (単位:件)	[目標値] 36 [実績値] 32 <達成率> 88.9%	[目標値] 36 [実績値] 45 <達成率> 125.0%	[目標値] 36 [実績値] 32 <達成率> 88.9%	[目標値] 36	A	A	継続 (理由) 新規創業者等を育成支援することは、本市の経済活性化を図るために必要な事業である。 なお、創業後も継続的な支援等が行えるように検討を行うこと。

3-4 農林水産業の振興

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
32	農村女性等活動支援事業	産業局 生産流通課	助成・育成	○事業開始年度 平成26年度 【概要】 農村地域の活性化を図るため、農産加工活動、地域農産物等のPR・地産地消の推進・食文化の継承など、地域農産物等を活用しているグループ活動に対し支援する。 【対象者】市農村女性等グループ連絡協議会 【具体的な活動内容】 ・下記活動への補助金(補助率1/2以内) ①農産加工研修会 ②各種イベントでの試食販売等によるPR活動および地産地消推進活動 ③食文化の継承のための料理教室 など	市単	[概算コスト] 3,700 (内訳) ・決算額 700 ・人件費 3,000 (0.38人)	[概算コスト] 4,996 (内訳) ・決算額 700 ・人件費 4,296 (0.56人)	[概算コスト] 5,467 (内訳) ・決算額 700 ・人件費 4,767 (0.62人)	[概算コスト] 4,609 (内訳) ・予算額 700 ・人件費 3,909 (0.50人)
33	受精卵移植事業	産業局 生産流通課	その他	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】 優良系統の確保による畜産経営の安定を図るため、受精卵移植技術を活用し、肉用牛、乳用牛の資質改善を行う。 【対象者】 農業者 【具体的な活動内容】 ・優れた受精卵を得るための供卵牛の購入 ・供卵牛より受精卵の採卵 ・他の雌牛への受精卵の移植	市単	[概算コスト] 15,027 (内訳) ・決算額 8,304 ・人件費 6,723 (0.86人)	[概算コスト] 14,923 (内訳) ・決算額 8,267 ・人件費 6,656 (0.86人)	[概算コスト] 14,274 (内訳) ・決算額 7,667 ・人件費 6,607 (0.86人)	[概算コスト] 17,138 (内訳) ・予算額 10,442 ・人件費 6,696 (0.86人)
34	遊休農地活用推進事業	産業局 農政総務課	助成・育成	○事業開始年度 平成29年度 【概要】 遊休農地の発生防止・解消を図るため、現状把握や各地域における話し合いを促進し、担い手等へ農地の流動化などを進める一方、営農再開が困難な農地は、都市農村の交流の場への活用など、地域の実情に合った多様な活用方法により、農地の保全管理を推進していく。 【対象者】 農地の所有者 【具体的な活動内容】 ・遊休農地の調査及び活用方法の検討 ・担い手への農地の農地流動化 ・農地中間管理事業による農地の集積等 ・市民農園の活用による遊休農地の発生防止など	国補助	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 16,005 (内訳) ・決算額 6,785 ・人件費 9,220 (1.20人)	[概算コスト] 15,609 (内訳) ・予算額 6,266 ・人件費 9,343 (1.20人)
35	森林資源整備事業	産業局 生産流通課	助成・育成	○事業開始年度 昭和53年度 【概要】 森林資源の整備を図るため、除間伐の促進や林業の担い手育成等を支援する。 【対象者】 森林組合、森林経営計画の認定を受けた者、森林所有者の団体 【具体的な活動内容】 ・造林事業…人工造林、下刈、間伐 ・集材路開設 ・高性能林業機械の導入	県補助	[概算コスト] 21,402 (内訳) ・決算額 16,008 ・人件費 5,394 (0.69人)	[概算コスト] 11,071 (内訳) ・決算額 5,731 ・人件費 5,340 (0.69人)	[概算コスト] 29,876 (内訳) ・決算額 24,575 ・人件費 5,301 (0.69人)	[概算コスト] 22,630 (内訳) ・予算額 17,258 ・人件費 5,372 (0.69人)
36	森林保護事業	産業局 生産流通課	その他	○事業開始年度 昭和46年度 【概要】 桜島の森林保全を図るため、県が実施する松くい虫の航空防除に伴う地上作業を実施する。 【対象者】 桜島地域で事業の対象地域内の森林所有者 【具体的な活動内容】 ・航空防除:予防措置としてヘリコプターによる薬剤散布(県からの受託事業) ・伐倒駆除:松くい虫被害木の伐倒及び薬剤処理(市単独事業)	県補助	[概算コスト] 17,411 (内訳) ・決算額 14,831 ・人件費 2,580 (0.33人)	[概算コスト] 17,557 (内訳) ・決算額 15,003 ・人件費 2,554 (0.33人)	[概算コスト] 17,536 (内訳) ・決算額 15,001 ・人件費 2,535 (0.33人)	[概算コスト] 18,918 (内訳) ・予算額 16,349 ・人件費 2,569 (0.33人)
37	漁業生産基盤整備事業	産業局 生産流通課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 昭和41年度 【概要】 優良漁場を確保し生産性の向上を図るため、魚礁の設置や産卵用タコつぼ、イカしば・松木の投入等による生産基盤の整備を行う。 【対象者】 漁業協同組合 【具体的な活動内容】 ・魚礁設置 コンクリート、溶岩等の魚礁設置 ・増養殖振興 タコつぼ投入、イカしば・松木投入、ヒジキ等の海藻繁殖(補助率)市1/2	市単	[概算コスト] 18,750 (内訳) ・決算額 15,623 ・人件費 3,127 (0.40人)	[概算コスト] 11,035 (内訳) ・決算額 7,939 ・人件費 3,096 (0.40人)	[概算コスト] 7,754 (内訳) ・決算額 4,681 ・人件費 3,073 (0.40人)	[概算コスト] 15,880 (内訳) ・予算額 12,766 ・人件費 3,114 (0.40人)

3-4 農林水産業の振興

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
農産加工 研修会開 催回数 (単位:回)	[目標値] 4 [実績値] 5 <達成率> 125.0%	[目標値] 4 [実績値] 5 <達成率> 125.0%	[目標値] 4 [実績値] 7 <達成率> 175.0%	[目標値] 4	農産加工 品販売額 (単位:千 円)	[目標値] 90,330 [実績値] 81,910 <達成率> 90.7%	[目標値] 90,330 [実績値] 91,120 <達成率> 100.9%	[目標値] 91,120 [実績値] 98,180 <達成率> 107.7%	[目標値] 98,180	A	B	見直し (理由) 農村地域の活性化を図るために必要 な事業であるが、グループが固定 化しているため、新規グループの結 成促進に取り組むこと。 また、加工品数や売上高の推移を みながら、段階的な補助率の減な ど、必要な見直しを行うべきである。
受精卵を 移植した頭 数 (単位:頭)	[目標値] 200 [実績値] 265 <達成率> 132.5%	[目標値] 200 [実績値] 236 <達成率> 118.0%	[目標値] 200 [実績値] 197 <達成率> 98.5%	[目標値] 200	受精卵移 植により受 胎した頭数 (単位:頭)	[目標値] 133 [実績値] 104 <達成率> 78.2%	[目標値] 118 [実績値] 95 <達成率> 80.5%	[目標値] 99 [実績値] 70 <達成率> 70.7%	[目標値] 100	A	B	見直し (理由) 肉用牛、乳用牛の資質改善を行う ことは、畜産経営の安定を図るた めに必要な事業であるが、受精 卵の移植が無料であるため、受 益者負担の観点から、費用負担 のあり方を検討し、負担基準を 設けるなど、見直しを行うべき である。
人・農地 プラン数(地 域における 話し合いの 場)(累積) (単位:地 区)	[目標値] 17 [実績値] 17 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 18 <達成率> 90.0%	[目標値] 21 [実績値] 21 <達成率> 100.0%	[目標値] 24	遊休農地 の解消面 積 (単位:ha)	[目標値] 6 [実績値] 1 <達成率> 16.7%	[目標値] 6 [実績値] 0 <達成率> 0.0%	[目標値] 9 [実績値] 4 <達成率> 44.4%	[目標値] 10	A	B	見直し (理由) 遊休農地の現状把握や活用促進 を行うことは、遊休農地の再生 や発生防止を図るため、必要 な事業であるが、解消面積が 目標値に達していないことから、 農業委員会と連携して、新 たな解消策に積極的に取り組 むなど、見直すべきである。
集材路開 設事業延 長 (単位:m)	[目標値] 11,900 [実績値] 0 <達成率> 0.0%	[目標値] 8,700 [実績値] 3,310 <達成率> 38.0%	[目標値] 8,030 [実績値] 10,506 <達成率> 130.8%	[目標値] 9,150	造林事業 実施面積 (単位:ha)	[目標値] 225 [実績値] 33 (245) <達成率> 14.7% (108.9%)	[目標値] 140 [実績値] 16 (210) <達成率> 11.4% (150.0%)	[目標値] 141 [実績値] 75 (180) <達成率> 53.2% (127.7%)	[目標値] 114	A	A	継続 (理由) 除間伐の促進や林業の担い手 育成等を支援することは、森 林資源の整備を図るため、 必要な事業である。
航空防除 面積 (単位:ha)	[目標値] 421 [実績値] 421 <達成率> 100.0%	[目標値] 421 [実績値] 421 <達成率> 100.0%	[目標値] 421 [実績値] 421 <達成率> 100.0%	[目標値] 421	被害材積 (単位:m ³)	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率> 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率> 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率> 100.0%	[目標値] 0	A	A	継続 (理由) 森林病害虫等防除法に基づく 松くい虫防除を実施すること で、松林の被害を抑え、松 林の保全が図られるため、 必要な事業である。
コンクリ ート等魚 礁設置量 (単位:m ²)	[目標値] 2,000 [実績値] 1,442 <達成率> 72.1%	[目標値] 2,500 [実績値] 1,880 <達成率> 75.2%	[目標値] 2,500 [実績値] 636 <達成率> 25.5%	[目標値] 1,000	沿岸漁船 漁業の漁 獲量 (単位:t)	[目標値] 483 [実績値] 435 <達成率> 90.1%	[目標値] 483 [実績値] 380 <達成率> 78.7%	[目標値] 483 [実績値] 353 <達成率> 73.0%	[目標値] 483	A	A	継続 (理由) 魚礁を設置し、生産基盤の 整備を図り、水産資源の増 大を図ることは、漁獲の安 定維持を図る上で、必要 な事業である。

3-4 農林水産業の振興

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
38	海づり公園管理事業	産業局 生産流通課	施設維持・管理	○事業開始年度 昭和61年度 【概要】 市民の余暇の活用及び健康の増進を図るため、海づり公園の適正な管理運営を行い、市民に安全で快適な海釣りの場及び海上の憩いの場を提供する。 【対象者】 公園利用者(大人・小人) 【具体的な活動内容】 ・釣り台、管理棟、駐車場ほかの維持管理 ・利用者(釣人や入園者)の安全確保及び釣り指導 ・釣り料、入園料及び駐車場使用料等の収納 ・定期的に釣りに関するイベント開催	市単	[概算コスト] 72,277 (内訳) ・決算額 69,150 ・人件費 3,127 (0.40人)	[概算コスト] 62,112 (内訳) ・決算額 60,874 ・人件費 1,238 (0.16人)	[概算コスト] 67,170 (内訳) ・決算額 65,941 ・人件費 1,229 (0.16人)	[概算コスト] 44,658 (内訳) ・予算額 43,412 ・人件費 1,246 (0.16人)

3-4 農林水産業の振興

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
イベント実施日数 (単位:日)	[目標値] 40 [実績値] 34 〈達成率〉 85.0%	[目標値] 40 [実績値] 40 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 33 [実績値] 37 〈達成率〉 112.1%	[目標値] 36	海づり公園利用者人数 (単位:人)	[目標値] 39,600 [実績値] 37,131 〈達成率〉 93.8%	[目標値] 39,600 [実績値] 34,389 〈達成率〉 86.8%	[目標値] 39,600 [実績値] 34,631 〈達成率〉 87.5%	[目標値] 39,600	A	A	継続 (理由) 市民に安全で快適な海釣りの場及び海上の憩いの場を提供することは、市民の余暇の活用及び健康の増進を図るため、必要な事業である。

4-2 高齢化対策の推進

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
39	敬老パス交付事業	健康福祉局 長寿支援課	助成・育成	○事業開始年度 昭和42年度 【概要】 高齢者の社会参加や生きがいを促進するため、本市域内の市電・バス・桜島フェリーを正規運賃の3分の1の自己負担で利用できる敬老パスを交付する。 【対象者】 本市に居住し、住民登録を有する70歳以上の者 【具体的な活動内容】 申請があった者に対し、敬老パスを交付する。(交付は本人に限定)	市単	[概算コスト] 437,996 (内訳) ・決算額 426,738 ・人件費 11,258 (1.44人)	[概算コスト] 420,129 (内訳) ・決算額 408,985 ・人件費 11,144 (1.44人)	[概算コスト] 414,997 (内訳) ・決算額 403,933 ・人件費 11,064 (1.44人)	[概算コスト] 420,078 (内訳) ・予算額 408,866 ・人件費 11,212 (1.44人)
40	すこやか長寿まつりの開催	健康福祉局 長寿支援課	イベント	○事業開始年度 平成24年度 【概要】 高齢者の社会参加や生きがいをづくり・健康づくりを促進するとともに、家族・地域とのつながりを実感できるスポーツ・文化のイベントとして、「すこやか長寿まつり」を開催する。 【対象者】 60歳以上の市民を含む団体、家族、地域住民 【具体的な活動内容】 ・スポーツ部門 ①グラウンド・ゴルフ大会、②ゲートボール大会 ③ソフトテニス大会、④ウォークラリー大会 ・文化部門 ①ねんりんステージ、②高齢者作品展	市単	[概算コスト] 15,622 (内訳) ・決算額 12,495 ・人件費 3,127 (0.40人)	[概算コスト] 14,563 (内訳) ・決算額 11,467 ・人件費 3,096 (0.40人)	[概算コスト] 14,524 (内訳) ・決算額 11,451 ・人件費 3,073 (0.40人)	[概算コスト] 14,604 (内訳) ・予算額 11,490 ・人件費 3,114 (0.40人)
41	高齢者のしおり作成事業	健康福祉局 長寿支援課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】 高齢化社会に対する啓発と高齢者への適切なサービスを周知するため、高齢者の保健福祉サービスに関する施策及び健康づくりや介護予防の知識などを分かりやすく掲載した「輝きライフ」を隔年で作成し配布する。 【配布先】 本庁、各支所保健福祉課、各保健センター、民生委員児童委員、地域福祉館、地域公民館等 【具体的な活動内容】 ・高齢者のしおりの作成、配布	市単	[概算コスト] 4,495 (内訳) ・決算額 2,150 ・人件費 2,345 (0.30人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0	[概算コスト] 4,495 (内訳) ・決算額 2,190 ・人件費 2,305 (0.30人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・予算額 0 ・人件費 0 (0.00人)
42	後期高齢者長寿健診事業	健康福祉局 長寿支援課	その他	○事業開始年度 平成20年度 【概要】 生活習慣病などの疾病の予防及び早期発見・早期治療に繋げるため、長寿健診を実施する。 【対象者】 後期高齢者医療被保険者(長期入院者等を除く) 【具体的な活動内容】 ・問診、身体計測、腹囲測定、血圧測定、尿検査、血液検査等 ・実施方法 ①毎年4月に受診券を送付する。 ②健診の実施を医療機関等へ委託する。 ③健診に係るデータ管理及び費用の支払いに関する業務は県国民健康保険団体連合会に委託する。	特会(その他)	[概算コスト] 105,503 (内訳) ・決算額 103,548 ・人件費 1,955 (0.25人)	[概算コスト] 109,906 (内訳) ・決算額 107,971 ・人件費 1,935 (0.25人)	[概算コスト] 119,868 (内訳) ・決算額 117,947 ・人件費 1,921 (0.25人)	[概算コスト] 125,522 (内訳) ・予算額 123,575 ・人件費 1,947 (0.25人)
43	高齢者いきいきポイント推進事業	健康福祉局 長寿あんしん課	助成・育成	○事業開始年度 平成25年度 【概要】 高齢者の生きがいをづくりや介護予防を推進するため、高齢者が介護保険施設等で行うボランティア活動や健康診査の受診に対して換金等が可能なポイントを付与する。 【対象者】 介護保険制度の第1号被保険者(65歳以上)のうち要支援・要介護認定を受けていない者 【具体的な活動内容】 ・事業広報及び説明会の実施 ・登録者及び受入施設の受付、管理 ・転換交付金の支出	特会(国・県補助)	[概算コスト] 6,875 (内訳) ・決算額 6,093 ・人件費 782 (0.10人)	[概算コスト] 6,353 (内訳) ・決算額 5,579 ・人件費 774 (0.10人)	[概算コスト] 6,331 (内訳) ・決算額 5,563 ・人件費 768 (0.10人)	[概算コスト] 6,854 (内訳) ・予算額 6,075 ・人件費 779 (0.10人)
44	介護給付適正化事業	健康福祉局 介護保険課	その他	○事業開始年度 平成16年度 【概要】 保険の適正な給付及び不正請求等の防止を図るため、介護保険サービスの利用に必要なケアプランを作成する居宅介護支援事業所等のケアマネジャーを対象にケアプランの作成に係る指導・助言、講演会等を実施する。 【対象者】 利用者、居宅介護支援事業所等 【具体的な活動内容】 ・介護給付調査指導員 1人配置 ・ケアプラン適正化指導検討会 (11回/年) ・介護給付費通知の送付 (平成30年度から1回/年) ・介護サービス事業者等講演会 (1回/年)	特会(国・県補助)	[概算コスト] 8,336 (内訳) ・決算額 6,460 ・人件費 1,876 (0.24人)	[概算コスト] 8,511 (内訳) ・決算額 6,654 ・人件費 1,857 (0.24人)	[概算コスト] 8,943 (内訳) ・決算額 7,099 ・人件費 1,844 (0.24人)	[概算コスト] 8,018 (内訳) ・予算額 6,149 ・人件費 1,869 (0.24人)

4-2 高齢化対策の推進

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
交付枚数 (単位:枚)	[目標値] 87,000 [実績値] 86,187 〈達成率〉 99.1%	[目標値] 89,000 [実績値] 88,704 〈達成率〉 99.7%	[目標値] 90,000 [実績値] 92,907 〈達成率〉 103.2%	[目標値] 95,000	利用件数 (単位:回)	[目標値] 5,600,000 [実績値] 5,485,777 〈達成率〉 98.0%	[目標値] 5,500,000 [実績値] 5,283,042 〈達成率〉 96.1%	[目標値] 5,300,000 [実績値] 5,201,486 〈達成率〉 98.1%	[目標値] 5,200,000	A	A	継続 (理由) 高齢者の生きがいがづくり、社会参加の促進、生活の利便性の向上のために必要な事業である。 なお、高齢者が増加する中でも持続可能な制度となるよう、今後の制度のあり方等について検討すること。
実施種目数 (単位:種目)	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 6	参加者数 (単位:人)	[目標値] 4,600 [実績値] 3,346 〈達成率〉 72.7%	[目標値] 4,500 [実績値] 3,916 〈達成率〉 87.0%	[目標値] 4,580 [実績値] 3,784 〈達成率〉 82.6%	[目標値] 4,560	A	B	見直し (理由) 高齢者の社会参加や生きがいがづくり・健康づくりを促進するために必要な事業であるが、参加者の少ない種目等もあることから、ニーズの把握に努め、より多くの市民に参加を促すような事業内容に見直すべきである。
作成部数 (単位:部)	[目標値] 31,000 [実績値] 28,000 〈達成率〉 90.3%	[目標値] 28,000 [実績値] 28,000 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 28,000 [実績値] 28,000 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 28,000	配付部数 (単位:部)	[目標値] 24,470 [実績値] 24,470 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3,530 [実績値] 3,530 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 23,135 [実績値] 23,135 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4,865	A	B	見直し (理由) 高齢者の保健福祉サービス等に関する情報を提供し、適切なサービス利用につなげていくために必要な事業であるが、冊子の作成にあたっては、広告掲載や民間との協働による作成など、効率的・効果的な手法へ見直すべきである。
健診対象者数 (単位:人)	[目標値] 36,462 [実績値] 36,462 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 37,892 [実績値] 37,892 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 38,625 [実績値] 38,625 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 38,625	受診率 (単位:%)	[目標値] 27.5 [実績値] 29.15 〈達成率〉 106.0%	[目標値] 28.0 [実績値] 29.40 〈達成率〉 105.0%	[目標値] 28.5 [実績値] 31.13 〈達成率〉 109.2%	[目標値] 41.5	A	A	継続 (理由) 生活習慣病を早期発見・早期治療し、重症化を予防することにより、医療費の抑制を図るために、必要な事業である。
事業登録者数 (単位:人)	[目標値] 1,130 [実績値] 1,122 〈達成率〉 99.3%	[目標値] 1,187 [実績値] 1,198 〈達成率〉 100.9%	[目標値] 1,246 [実績値] 1,250 〈達成率〉 100.3%	[目標値] 1,308	事業登録者数に占める実活動者数の割合 (単位:%)	[目標値] 21.0% [実績値] 20.1% 〈達成率〉 95.7%	[目標値] 21.5% [実績値] 21.6% 〈達成率〉 100.5%	[目標値] 22.0% [実績値] 20.5% 〈達成率〉 93.2%	[目標値] 22.5%	A	A	継続 (理由) 高齢者の生きがいがづくりや介護予防を推進するために必要な事業である。 なお、実活動者数が増加するよう、効果的な事業の周知広報や対象活動の充実などに努めること。
ケアプラン検討会の開催 (単位:件)	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11	ケアプラン点検件数 (単位:件)	[目標値] 132 [実績値] 145 〈達成率〉 109.8%	[目標値] 132 [実績値] 124 〈達成率〉 93.9%	[目標値] 132 [実績値] 142 〈達成率〉 107.6%	[目標値] 132	A	A	継続 (理由) 保険の適正な給付及び不正請求等の防止を図り、持続可能な介護保険制度を構築するために、必要な事業である。

4-3 きめ細かな福祉の充実

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
45	地域福祉推進事業	健康福祉局 地域福祉課	市民サービス	○事業開始年度 平成16年度 【概要】 安心して健康に暮らせる地域社会を実現するため、地域でお互いに支えあう仕組みを整える。 【対象者】 地域福祉活動団体、一般市民 【具体的な活動内容】 ・地域福祉館等を拠点とした地域福祉ネットワークの推進 ・地域福祉計画推進委員会運営 ・地域福祉計画地区福祉推進会議運営 ・小地域ネットワーク支えあい補助金	国補助	[概算コスト] 37,228 (内訳) ・決算額 32,224 ・人件費 5,004 (0.64人)	[概算コスト] 38,857 (内訳) ・決算額 33,904 ・人件費 4,953 (0.64人)	[概算コスト] 37,363 (内訳) ・決算額 32,446 ・人件費 4,917 (0.64人)	[概算コスト] 38,854 (内訳) ・予算額 33,871 ・人件費 4,983 (0.64人)
46	民生委員児童委員活動促進事業	健康福祉局 地域福祉課	助成・育成	○事業開始年度 昭和23年度 【概要】 民生委員児童委員は、地域住民の相談に応じ、助言その他の援助を行うとともに、各種調査及び情報の提供など本市福祉行政への活動を行っており、その委員活動を円滑に推進するため、活動・運営に必要な費用を交付する。 【対象者】 民生委員・児童委員、地区民生委員児童委員協議会 【具体的な活動内容】 ・地区民児協研助成金、地区民児協会長交通費交付金、民生委員児童委員調査活動費交付金、地区民児協運営費交付金、地区民児協会長活動費交付金	市単	[概算コスト] 185,598 (内訳) ・決算額 181,845 ・人件費 3,753 (0.48人)	[概算コスト] 185,886 (内訳) ・決算額 182,171 ・人件費 3,715 (0.48人)	[概算コスト] 188,915 (内訳) ・決算額 185,227 ・人件費 3,688 (0.48人)	[概算コスト] 188,838 (内訳) ・予算額 185,101 ・人件費 3,737 (0.48人)
47	ゆうあいガイドブック作成事業	健康福祉局 障害福祉課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和34年度 【概要】 障害者の在宅生活の質の向上や社会参加の促進等を図るため、障害者やその家族に対して、各種福祉制度の概要や手続き方法を紹介するガイドブックを作成する。 【対象者】 障害者、障害者の家族、関係機関、関係団体及び施設職員等 【具体的な活動内容】 ・ゆうあいガイドブックの作成及び配付 (制度改正等に応じて作成)	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 2,210 (内訳) ・決算額 972 ・人件費 1,238 (0.16人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・予算額 0 ・人件費 0 (0.00人)
48	ひとり暮らし障害者等安心通報システム設置事業	健康福祉局 障害福祉課	助成・育成	○事業開始年度 平成6年度～24年度:在宅介護支援システム 平成25年度から現行システム稼働 【概要】 在宅のひとり暮らしの重度身体障害者等の生活の安全を確保するとともに、障害者の不安を解消するため、ひとり暮らし障害者安心通報システムを設置し、通報やセンサー異常の際に、警備会社の安否確認や救急車の出動要請を行う。 【対象者】 ① 65歳未満のひとり暮らしの重度身体障害者(身体障害者手帳1・2級) ② 65歳未満の重度障害者(身体障害者手帳1・2級)のみの世帯 ③ ②と同程度の世帯 【具体的な活動内容】 ・システムの設置、保守点検、修繕、移設、撤去等 ・利用者からの緊急通報受信時又はセンサー等の異常感知時の対応	市単	[概算コスト] 2,149 (内訳) ・決算額 1,367 ・人件費 782 (0.10人)	[概算コスト] 2,256 (内訳) ・決算額 1,482 ・人件費 774 (0.10人)	[概算コスト] 2,147 (内訳) ・決算額 1,379 ・人件費 768 (0.10人)	[概算コスト] 2,592 (内訳) ・予算額 1,813 ・人件費 779 (0.10人)
49	市民福祉手当(障害者・児)支給事業	健康福祉局 障害福祉課	助成・育成	○事業開始年度 昭和45年度 【概要】 重度障害者(児)の福祉の増進を図るため、年額24,000円の市民福祉手当を支給する。 【対象者】 ・基準日時点において、本市に引き続き1年以上居住している者 ・身体障害者手帳1・2級、療育手帳A1、A2、B1、精神障害者保健福祉手帳1・2級又はこれに準ずる者 【具体的な活動内容】 ・年額24,000円の手当を支給する。	市単	[概算コスト] 333,896 (内訳) ・決算額 331,551 ・人件費 2,345 (0.30人)	[概算コスト] 364,348 (内訳) ・決算額 362,026 ・人件費 2,322 (0.30人)	[概算コスト] 350,934 (内訳) ・決算額 348,629 ・人件費 2,305 (0.30人)	[概算コスト] 361,965 (内訳) ・予算額 359,629 ・人件費 2,336 (0.30人)
50	特定健康診査・特定保健指導事業	市民局 国民健康保険課	その他	○事業開始年度 平成20年度 【概要】 生活習慣病予防の徹底を図るため、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健康診査及び保健指導を実施する。 【対象者】 市国保に加入している40歳～74歳の被保険者 【具体的な活動内容】 毎年新年度の保険証発送時に特定健診受診券を送付し、被保険者は、本市の委託する健診実施機関で健診を受診する。	国・県補助	[概算コスト] 289,198 (内訳) ・決算額 266,682 ・人件費 22,516 (2.88人)	[概算コスト] 277,167 (内訳) ・決算額 254,879 ・人件費 22,288 (2.88人)	[概算コスト] 257,732 (内訳) ・決算額 235,605 ・人件費 22,127 (2.88人)	[概算コスト] 343,364 (内訳) ・予算額 320,940 ・人件費 22,424 (2.88人)

4-3 きめ細かな福祉の充実

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
地域福祉支援員年間活動件数 (単位:件)	[目標値] 7,200 [実績値] 6,402 <達成率> 88.9%	[目標値] 7,400 [実績値] 7,444 <達成率> 100.6%	[目標値] 7,700 [実績値] 7,890 <達成率> 102.5%	[目標値] 8,000	地域福祉ネットワーク登録団体数 (単位:団体)	[目標値] 430 [実績値] 431 <達成率> 100.2%	[目標値] 450 [実績値] 460 <達成率> 102.2%	[目標値] 470 [実績値] 491 <達成率> 104.5%	[目標値] 495	A	A	継続 (理由) 地域福祉ネットワークの推進と互いに支えあう仕組みづくりに寄与しており、必要な事業である。
民生委員・児童委員調査活動費交付人数 (単位:人)	[目標値] 1,050 [実績値] 1,030 <達成率> 98.1%	[目標値] 1,050 [実績値] 1,041 <達成率> 99.1%	[目標値] 1,060 [実績値] 1,038 <達成率> 97.9%	[目標値] 1,060	活動日数 (単位:日)	[目標値] 192,927 [実績値] 188,243 <達成率> 97.6%	[目標値] 188,243 [実績値] 193,221 <達成率> 102.6%	[目標値] 193,221 [実績値] 191,228 <達成率> 99.0%	[目標値] 191,228	A	A	継続 (理由) 民生委員・児童委員の各種調査活動や相談業務は地域福祉活動の基礎となっており、その活動に要する経費の助成は、委員活動を円滑に推進するため必要である。
作成部数 (単位:部)	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500	配付部数 (単位:部)	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500 [実績値] 7,500 <達成率> 100.0%	[目標値] 7,500	A	B	見直し (理由) 障害福祉サービス及び各種制度等をまとめて障害者やその家族等に周知するために、必要な事業であるが、冊子の作成にあたっては、広告掲載や民間との協働による作成など、効率的・効果的な手法へ見直すべきである。
設置台数 (単位:台)	[目標値] 26 [実績値] 28 <達成率> 107.7%	[目標値] 37 [実績値] 29 <達成率> 78.4%	[目標値] 35 [実績値] 27 <達成率> 77.1%	[目標値] 34	通報件数 (単位:件)	[目標値] 123 [実績値] 123 <達成率> 100.0%	[目標値] 93 [実績値] 93 <達成率> 100.0%	[目標値] 125 [実績値] 125 <達成率> 100.0%	[目標値] 125	A	A	継続 (理由) 在宅のひとり暮らし重度身体障害者等の生活の安全を確保するとともに、障害者の不安を解消するために必要な事業である。 なお、より多くの利用が図られるよう広報周知に努めること。
交付人数 (単位:件)	[目標値] 14,769 [実績値] 13,737 <達成率> 93.0%	[目標値] 14,804 [実績値] 15,019 <達成率> 101.5%	[目標値] 15,125 [実績値] 14,436 <達成率> 95.4%	[目標値] 14,889	交付額 (単位:千円)	[目標値] 354,456 [実績値] 329,688 <達成率> 93.0%	[目標値] 355,296 [実績値] 360,456 <達成率> 101.5%	[目標値] 363,000 [実績値] 346,464 <達成率> 95.4%	[目標値] 357,336	A	B	見直し (理由) 重度障害者(児)の福祉の増進を図るために必要であるが、重度障害者については、支援制度の充実が図られてきていることから、制度のあり方について検討し、見直しを行うべきである。
特定健診受診者数 (単位:人)	[目標値] 46,468 [実績値] 27,638 <達成率> 59.5%	[目標値] 54,755 [実績値] 26,531 <達成率> 48.5%	[目標値] 63,203 [実績値] 26,531 <達成率> 48.5%	[目標値] 29,328	特定健診受診率 (単位:%)	[目標値] 45.0 [実績値] 31.3 <達成率> 69.6%	[目標値] 52.5 [実績値] 30.8 <達成率> 58.7%	[目標値] 60.0 [実績値] 30.8 <達成率> 58.7%	[目標値] 35.0	A	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照

4-3 きめ細かな福祉の充実

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
51	被保護者就労支援事業	健康福祉局 保護第一課	その他	○事業開始年度 平成17年度 【概要】 被保護者の自立助長を図るため、ハローワークOB等の専門員により、就労支援を行う。 【対象者】 被保護者 【具体的な活動内容】 ・就労支援員の配置(7人) ①被保護者等への就労相談・支援 ②ハローワーク窓口設置等によるワンストップ支援 ・被保護者への介護職員初任者研修の開催	国補助	[概算コスト] 21,514 (内訳) ・決算額 19,559 ・人件費 1,955 (0.25人)	[概算コスト] 21,561 (内訳) ・決算額 19,626 ・人件費 1,935 (0.25人)	[概算コスト] 20,788 (内訳) ・決算額 18,867 ・人件費 1,921 (0.25人)	[概算コスト] 23,157 (内訳) ・予算額 21,210 ・人件費 1,947 (0.25人)
52	被保護者自立促進事業	健康福祉局 保護第一課	その他	○事業開始年度 昭和60年度 【概要】 生活保護の適正な運営及び被保護者の自立促進を図るため、年金調査支援員等を配置し、円滑な生活保護の相談・支援等を行う。 【対象者】 被保護者 【具体的な活動内容】 ・収入資産状況把握等充実事業(年金調査) ・扶養義務調査充実事業 ・体制整備強化事業(生活保護の面接相談) ・レセプトを活用した医療扶助適正化事業 ・生活習慣病の重症化予防等の健康管理支援	国補助	[概算コスト] 45,091 (内訳) ・決算額 43,136 ・人件費 1,955 (0.25人)	[概算コスト] 46,340 (内訳) ・決算額 44,405 ・人件費 1,935 (0.25人)	[概算コスト] 50,210 (内訳) ・決算額 48,289 ・人件費 1,921 (0.25人)	[概算コスト] 54,153 (内訳) ・予算額 52,206 ・人件費 1,947 (0.25人)

4-3 きめ細かな福祉の充実

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
被保護者等への就労相談・支援件数 (単位:件)	[目標値] 487 [実績値] 439 〈達成率〉 90.1%	[目標値] 439 [実績値] 416 〈達成率〉 94.8%	[目標値] 416 [実績値] 355 〈達成率〉 85.3%	[目標値] 355	就労件数 (単位:件)	[目標値] 232 [実績値] 221 〈達成率〉 95.3%	[目標値] 221 [実績値] 223 〈達成率〉 100.9%	[目標値] 223 [実績値] 193 〈達成率〉 86.5%	[目標値] 193	A	A	継続 (理由) 被保護者の就労による自立助長を図るために、必要な事業である。 なお、生活・就労支援センターかごしまのさらなる利用促進を図ること。
年金調査件数 (単位:件)	[目標値] 980 [実績値] 1,158 〈達成率〉 118.2%	[目標値] 1,158 [実績値] 1,700 〈達成率〉 146.8%	[目標値] 1,700 [実績値] 3,067 〈達成率〉 180.4%	[目標値] 1,700	年金手続件数 (単位:件)	[目標値] 167 [実績値] 179 〈達成率〉 107.2%	[目標値] 179 [実績値] 178 〈達成率〉 99.4%	[目標値] 178 [実績値] 1,362 〈達成率〉 765.2%	[目標値] 178	A	A	継続 (理由) 生活保護の適正な運営及び被保護者の自立促進を図るために、必要な事業である。

4-6 総合的な危機管理・防災力の充実

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
53	原子力災害対策事業	危機管理局 危機管理課	その他	○事業開始年度 平成25年度 【概要】 地域防災計画(原子力災害対策編)に基づき、市民の生命、身体及び財産を原子力災害から保護するため、訓練や研修等の防災対策を進める。 【対象者】 UPZ(原子力災害対策重点区域)内住民等 【具体的な活動内容】 ・原子力総合防災訓練の実施 ・研修会の実施 ・広報資料の作成等 など	県補助	[概算コスト] 2,685 (内訳) ・決算額 340 ・人件費 2,345 (0.30人)	[概算コスト] 3,120 (内訳) ・決算額 798 ・人件費 2,322 (0.30人)	[概算コスト] 3,138 (内訳) ・決算額 833 ・人件費 2,305 (0.30人)	[概算コスト] 3,527 (内訳) ・予算額 1,191 ・人件費 2,336 (0.30人)
54	危機管理セミナーの開催	危機管理局 危機管理課	内部管理	○事業開始年度 平成19年度 【概要】 危機管理指針に基づき、各職場における危機管理体制の充実及び職員の危機管理意識の高揚を図るため、危機管理セミナーを開催する。 【対象者】 本市職員(各課長。ただし、28年度は、各課長とその指名する者) 【具体的な活動内容】 危機管理に関するテーマを掲げ、外部講師による研修会を開催	市単	[概算コスト] 355 (内訳) ・決算額 42 ・人件費 313 (0.04人)	[概算コスト] 531 (内訳) ・決算額 221 ・人件費 310 (0.04人)	[概算コスト] 845 (内訳) ・決算額 538 ・人件費 307 (0.04人)	[概算コスト] 611 (内訳) ・予算額 300 ・人件費 311 (0.04人)
55	民間建築物耐震化促進事業	建設局 建築指導課	助成・育成	○事業開始年度 平成26年度 【概要】 地震災害に強いまちづくりを促進するため、耐震診断が義務付けられた大規模建築物に対し、耐震化の補助を行うとともに、戸建住宅の耐震化への相談に対し、耐震アドバイザーを派遣する。 【対象者】 補助:大規模建築物の所有者、派遣:戸建住宅の所有者 【具体的な活動内容】 ・民間建築物の耐震診断、補強設計、耐震改修工事等に要する費用の一部を助成 ・戸建住宅所有者からの相談内容に応じて、専門的な知識を有する耐震アドバイザーを派遣	国・県補助	[概算コスト] 65,198 (内訳) ・決算額 62,462 ・人件費 2,736 (0.35人)	[概算コスト] 88,365 (内訳) ・決算額 85,656 ・人件費 2,709 (0.35人)	[概算コスト] 57,037 (内訳) ・決算額 54,348 ・人件費 2,689 (0.35人)	[概算コスト] 344,641 (内訳) ・予算額 341,916 ・人件費 2,725 (0.35人)
56	災害時食糧等物資備蓄事業	健康福祉局 地域福祉課	その他	○事業開始年度 平成24年度 【概要】 鹿児島市地域防災計画において、災害時における食糧等物資の供給協力に関する協定等を結んでいるが、大規模発生時には交通インフラの麻痺は十分に考えられるため、避難所等に避難した住民に対し、食糧配給体制の整うまでの間、必要最低限の食糧及び生活必需品を備蓄する。 【対象者】 一般市民 【具体的な活動内容】 ・37,600人分の1日分の食糧や生活必需品等を平成24年度から5か年計画で備蓄した。 ・30年度は、年度内に保管期限を迎える食糧の買い換えや熊本地震を踏まえた見直しにより新たに追加した物資等の備蓄を行う。	市単	[概算コスト] 31,042 (内訳) ・決算額 29,478 ・人件費 1,564 (0.20人)	[概算コスト] 29,903 (内訳) ・決算額 28,355 ・人件費 1,548 (0.20人)	[概算コスト] 12,589 (内訳) ・決算額 11,052 ・人件費 1,537 (0.20人)	[概算コスト] 11,592 (内訳) ・予算額 10,035 ・人件費 1,557 (0.20人)
57	応急手当普及啓発推進事業	消防局 警防課	啓発・広報	○事業開始年度 平成7年度 【概要】 バイスタンダー(応急手当を実施できる市民等)を養成することにより救急業務における救命効果の向上を図るため、広く市民へ応急手当の普及啓発を行うとともに、予防救急の普及に努める。 【対象者】 市民 【具体的な活動内容】 ・普通救命講習等の開催 ・応急手当普及員の養成 ・救命講習講師ボランティアの登録及び運用	市単	[概算コスト] 3,018 (内訳) ・決算額 1,142 ・人件費 1,876 (0.24人)	[概算コスト] 2,833 (内訳) ・決算額 976 ・人件費 1,857 (0.24人)	[概算コスト] 2,789 (内訳) ・決算額 945 ・人件費 1,844 (0.24人)	[概算コスト] 4,299 (内訳) ・予算額 2,430 ・人件費 1,869 (0.24人)
58	安心安全マイホームの推進事業	消防局 予防課	その他	○事業開始年度 平成18年度 【概要】 住宅火災の低減及び火災による死者の抑制並びに火災発生時における自助力の向上を図るため、防火チラシ等の配布やラジオによる火災予防広報を行うとともに、地域のページェント(消防訓練)において訓練指導を行う。 【対象者】 市民 【具体的な活動内容】 ・町内会等に対する火災予防普及啓発活動 ・防火チラシや住宅用火災警報器維持管理カードの配布 ・実際の炎を使った消火体験装置による消火訓練の実施	市単	[概算コスト] 2,909 (内訳) ・決算額 798 ・人件費 2,111 (0.27人)	[概算コスト] 2,886 (内訳) ・決算額 796 ・人件費 2,090 (0.27人)	[概算コスト] 4,039 (内訳) ・決算額 1,734 ・人件費 2,305 (0.30人)	[概算コスト] 3,317 (内訳) ・予算額 1,215 ・人件費 2,102 (0.27人)

4-6 総合的な危機管理・防災力の充実

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
原子力総合防災訓練・研修会の参加者数 (単位:人)	[目標値] 240 [実績値] 164 〈達成率〉 68.3%	[目標値] 240 [実績値] 181 〈達成率〉 75.4%	[目標値] 240 [実績値] 229 〈達成率〉 95.4%	[目標値] 240	訓練後のアンケートで「避難できると感じた」と答えた人の割合 (単位:%)	[目標値] 100 [実績値] 79.2 〈達成率〉 79.2%	[目標値] 100 [実績値] 79.2 〈達成率〉 79.2%	[目標値] 100 [実績値] 85.2 〈達成率〉 85.2%	[目標値] 100	A	A	継続 (理由) 本市の原子力防災体制の実効性を高め、市民の生命、身体及び財産を原子力災害から保護するために必要な事業である。 なお、より多くの方が参加し、災害時の備えが進むよう、引き続き訓練内容の充実等に努めること。
セミナー出席者数 (単位:人)	[目標値] 170 [実績値] 171 〈達成率〉 100.6%	[目標値] 336 [実績値] 257 〈達成率〉 76.5%	[目標値] 170 [実績値] 141 〈達成率〉 82.9%	[目標値] 346	実施後のアンケートで「参考になった」と答えた人の割合 (単位:%)	[目標値] 100 [実績値] 94.2 〈達成率〉 94.2%	[目標値] 100 [実績値] 94.2 〈達成率〉 94.2%	[目標値] 100 [実績値] 94.2 〈達成率〉 94.2%	[目標値] 100	A	A	継続 (理由) 各職場における危機管理体制の充実及び職員の危機管理意識の高揚を図るために必要な事業である。
耐震診断、補強設計、耐震改修の補助申請件数 (単位:件)	[目標値] 11 [実績値] 10 〈達成率〉 90.9%	[目標値] 4 [実績値] 1 〈達成率〉 25.0%	[目標値] 6 [実績値] 4 〈達成率〉 66.7%	[目標値] 5	耐震改修工事着手棟数 (単位:%)	[目標値] 7 [実績値] 0 〈達成率〉 0.0%	[目標値] 7 [実績値] 1 〈達成率〉 14.3%	[目標値] 7 [実績値] 3 〈達成率〉 42.9%	[目標値] 7	A	A	継続 (理由) 民間事業者等を支援し、耐震化を進めることで、地震災害に強いまちづくりを促進するため、必要な事業である。 なお、耐震アドバイザー派遣については、制度がより活用されるよう広報周知に努めること。
アルファ米＋災害備蓄保存用パン購入数 (単位:食)	[目標値] 30,000 [実績値] 30,000 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 23,640 [実績値] 23,640 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 11,994 [実績値] 11,994 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 17,280	アルファ米＋災害備蓄保存用パン備蓄数 (単位:食)	[目標値] 112,800 [実績値] 94,560 〈達成率〉 83.8%	[目標値] 112,800 [実績値] 112,900 〈達成率〉 100.1%	[目標値] 112,800 [実績値] 112,914 〈達成率〉 100.1%	[目標値] 112,800	A	A	継続 (理由) 大規模災害発生時の食糧及び生活必需品を確保するために、必要な事業である。 なお、実際の災害でのニーズも踏まえながら、備蓄物資や保管場所等について十分確保に努めること。
救命講習修了証取得者数 (単位:人)	[目標値] 6,000 [実績値] 5,801 〈達成率〉 96.7%	[目標値] 6,000 [実績値] 4,486 〈達成率〉 74.8%	[目標値] 6,000 [実績値] 6,106 〈達成率〉 101.8%	[目標値] 6,000	救命講習修了証取得者数(延べ人数) (単位:人)	[目標値] 61,500 [実績値] 62,054 〈達成率〉 100.9%	[目標値] 67,000 [実績値] 66,540 〈達成率〉 99.3%	[目標値] 72,500 [実績値] 72,646 〈達成率〉 100.2%	[目標値] 78,000	A	A	継続 (理由) 市民が応急手当の知識及び技術を習得することにより、救命効果の向上を図るため、必要な事業である。
町内会等に対する消防訓練の実施件数 (単位:件)	[目標値] 115 [実績値] 115 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 128 [実績値] 128 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 150 [実績値] 150 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 150	住宅火災の発生件数 (単位:件)	[目標値] 0 [実績値] 54 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 52 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 46 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 0	A	A	継続 (理由) 住宅に関する防火の周知広報を通し、火災の防止及び死傷者の抑制を図るために必要な事業である。 なお、地域での消防訓練の実施など、火災予防のさらなる普及啓発に努めること。

4-6 総合的な危機管理・防災力の充実

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
59	公共下水道事業 (雨水分)	建設局 河川港湾課 吉野区画整理課 谷山都市整備課 谷山建設課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 昭和27年度 【概要】 水路の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、長寿命化計画に基づく改築等を行うとともに、浸水被害等の解消を図るため、水路の新設・改良を行う。 【対象者】 市民 【具体的な活動内容】 ・長寿命化計画に基づく改築及び水路等の新設、改良 H27年度L= 216 m(長寿命化) 、 L= 426 m(浸水対策) H28年度L= 180 m(長寿命化) 、 L= 581 m(浸水対策) H29年度L= 321 m(長寿命化) 、 L= 436 m(浸水対策)	国補助	[概算コスト] 600,177 (内訳) ・決算額 538,962 ・人件費 61,215 (7.83人)	[概算コスト] 626,840 (内訳) ・決算額 560,362 ・人件費 66,478 (8.59人)	[概算コスト] 913,634 (内訳) ・決算額 859,776 ・人件費 53,858 (7.01人)	[概算コスト] 1,425,880 (内訳) ・予算額 1,368,108 ・人件費 57,772 (7.42人)
60	水路等新設改良事業	建設局 河川港湾課 道路建設課 谷山建設課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 昭和32年度 【概要】 雨水の河川への流入を抑制するため、調整池の改良を行うとともに、道路冠水等の対策として普通河川の改良を行う。 【対象者】 市民 【具体的な活動内容】 ・普通河川及び調整池(オリフィス・スクリーン等)の改良 H27年度 L= 0 m(普通河川) V= 27,090 m ³ (調整池) H28年度 L= 165 m(普通河川) V= 42,450 m ³ (調整池) H29年度 L= 20 m(普通河川) V= 10,867 m ³ (調整池)	市単	[概算コスト] 54,729 (内訳) ・決算額 41,751 ・人件費 12,978 (1.66人)	[概算コスト] 116,515 (内訳) ・決算額 83,392 ・人件費 33,123 (4.28人)	[概算コスト] 88,897 (内訳) ・決算額 54,631 ・人件費 34,266 (4.46人)	[概算コスト] 123,822 (内訳) ・予算額 87,384 ・人件費 36,438 (4.68人)
61	克灰袋配布事業	環境局 環境衛生課	市民サービス	○事業開始年度 昭和60年度 【概要】 降灰対策の一助として、降灰の円滑な除去を図るため、降灰のあった地域に無償で克灰袋を委託配布するとともに、各支所及び福祉館等においても克灰袋を窓口配布する。 【対象者】 一般市民及び市内の事業所 【具体的な活動内容】 ・降灰のあった地域に克灰袋を無償配布 ・本庁・各支所及び福祉館等において、克灰袋を希望する市民に適宜配布	市単	[概算コスト] 30,199 (内訳) ・決算額 30,043 ・人件費 156 (0.02人)	[概算コスト] 639 (内訳) ・決算額 484 ・人件費 155 (0.02人)	[概算コスト] 5,533 (内訳) ・決算額 5,379 ・人件費 154 (0.02人)	[概算コスト] 11,428 (内訳) ・予算額 11,272 ・人件費 156 (0.02人)
62	桜島降灰対策事業	産業局 産業支援課	施設維持・管理	○事業開始年度 昭和60年度 【概要】 桜島爆発による降灰から快適な都市環境と美観を守るため、商店街のアーケード降灰除去作業等に対し助成などを行い、市民にとって快適な街づくりを推進する。 【対象者】 商店街 【具体的な活動内容】 ・アーケード降灰除去事業補助金 商店街がアーケードの降灰除去をした場合、その経費の一部を助成 ・桜島爆発降灰除去事業補助金(降灰除去機購入助成) 商店街が降灰除去機を購入した場合、その経費の一部を助成 ・克灰袋の配布 商店街に克灰袋を配布	市単	[概算コスト] 252 (内訳) ・決算額 96 ・人件費 156 (0.02人)	[概算コスト] 483 (内訳) ・決算額 328 ・人件費 155 (0.02人)	[概算コスト] 375 (内訳) ・決算額 221 ・人件費 154 (0.02人)	[概算コスト] 1,146 (内訳) ・予算額 990 ・人件費 156 (0.02人)
63	町内会降灰除去機購入費補助事業	市民局 地域振興課	助成・育成	○事業開始年度 昭和60年度 【概要】 桜島爆発による降灰から快適な生活環境を守るため、手押し式降灰除去機を購入し、歩道や生活道路等の降灰除去を行う町内会等に対し、その経費の一部を助成する。 【対象者】 (1) 町内会その他の住民自治組織 (2) 住居が隣接しているおおむね10世帯以上のグループ 【具体的な活動内容】 ・補助率:2分の1 ・限度額:1台当たり5万円	市単	[概算コスト] 416 (内訳) ・決算額 25 ・人件費 391 (0.05人)	[概算コスト] 387 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 387 (0.05人)	[概算コスト] 384 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 384 (0.05人)	[概算コスト] 539 (内訳) ・予算額 150 ・人件費 389 (0.05人)

4-6 総合的な危機管理・防災力の充実

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
各年度の 長寿命化 対策の整備延長 (単位:m)	[目標値] 442 [実績値] 216 〈達成率〉 48.9%	[目標値] 343 [実績値] 180 〈達成率〉 52.4%	[目標値] 330 [実績値] 321 〈達成率〉 97.3%	[目標値] 494	長寿命化 対策の整備延長(累計) (単位:m)	[目標値] 3,780 [実績値] 367.6 〈達成率〉 9.7%	[目標値] 3,780 [実績値] 547.4 〈達成率〉 14.5%	[目標値] 1,995 [実績値] 868.4 〈達成率〉 43.5%	[目標値] 1,995	A	A	継続 (理由) 水路の老朽化対策や新設・改良を行うなど、総合的な治水対策を推進するために、必要な事業である。
各年度の 普通河川 の整備延長 (単位:m)	[目標値] 70 [実績値] 0 〈達成率〉 0.0%	[目標値] 165 [実績値] 165 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 80 [実績値] 20 〈達成率〉 25.0%	[目標値] 80	普通河川 の整備延長(累計) (単位:m)	[目標値] 72,537 [実績値] 40,070 〈達成率〉 55.2%	[目標値] 72,537 [実績値] 40,235 〈達成率〉 55.5%	[目標値] 72,537 [実績値] 40,255 〈達成率〉 55.5%	[目標値] 72,537	A	A	継続 (理由) 雨水の河川への流入を抑制する調整池の改修や普通河川の改良を行うなど、総合的な治水対策を推進するために、必要な事業である。
購入枚数 (単位:枚)	[目標値] 4,500,000 [実績値] 4,600,000 〈達成率〉 102.2%	[目標値] — [実績値] — 〈達成率〉 —	[目標値] — [実績値] — 〈達成率〉 —	[目標値] —	配布枚数 (単位:枚)	[目標値] 3,162,130 [実績値] 3,162,130 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 409,666 [実績値] 409,666 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1,202,225 [実績値] 1,202,225 〈達成率〉 100.0%	[目標値] —	A	A	継続 (理由) 降灰のあった地域に克灰袋を配布することは、降灰の円滑な除去を図るため、必要な事業である。
補助申請 団体数 (目標値は 前年度の 数) (単位:件)	[目標値] 10 [実績値] 2 〈達成率〉 20.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 3 〈達成率〉 150.0%	[目標値] 3	商店街 アーケード 降灰除去 作業等に 対し助成な どを行うこ とで、市民 にとって快 適な街づく りに寄与す る。	[目標値] — [実績値] — 〈達成率〉 —	[目標値] — [実績値] — 〈達成率〉 —	[目標値] — [実績値] — 〈達成率〉 —	[目標値] —	A	A	継続 (理由) 桜島爆発による降灰から快適な都市環境と美観を守り、市民にとって快適な街づくりを推進するため、必要な事業である。 なお、引き続き広報周知に努めること。
制度の周 知回数 (単位:件)	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 〈達成率〉 100.0%	[目標値] —	実績件数 (単位:台)	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 0 [実績値] 0 〈達成率〉 100.0%	[目標値] —	A	A	継続 (理由) 桜島爆発による降灰から快適な生活環境を守るため、必要な事業である。 なお、引き続き広報周知に努めること。

5-1 学校教育の充実

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
64	私立幼稚園障害児教育補助事業	健康福祉局 保育幼稚園課	助成・育成	○事業開始年度 平成元年度 【概要】 障害児に対し、就園の機会拡充や障害の種類程度に応じた教育を図るため、障害児が在園する私立幼稚園で県の助成の対象になっていない園に対し、補助を交付する。 【対象者】 障害児が在園する私立幼稚園で「鹿児島県私立幼稚園特別支援教育費補助金交付要綱」の対象(学校法人の幼稚園で、5月1日現在、障害児が2人以上在園)ではない、障害児が1人のみで在園している園 【具体的な活動内容】 ・私立幼稚園の障害児教育に要する経費(教材器具費・施設整備費・障害児教育研修費等)に対し、1人あたり年間392,000円の範囲内で補助金を交付	市単	[概算コスト] 3,369 (内訳) ・決算額 2,744 ・人件費 625 (0.08人)	[概算コスト] 3,363 (内訳) ・決算額 2,744 ・人件費 619 (0.08人)	[概算コスト] 5,319 (内訳) ・決算額 4,704 ・人件費 615 (0.08人)	[概算コスト] 4,935 (内訳) ・予算額 4,312 ・人件費 623 (0.08人)
65	私立幼稚園等の運営に関する助成事業	健康福祉局 保育幼稚園課	助成・育成	○事業開始年度 昭和48年度 【概要】 私立幼稚園等の職員の資質向上と教育及び保育内容の充実を図るため、私立幼稚園や認定こども園、私立幼稚園協会に対し補助を行う。 【対象者】 私立幼稚園等及び鹿児島市私立幼稚園協会 【具体的な活動内容】 ・私立幼稚園に対しては、研修費、教材費、絵本に親しむ活動費、読み聞かせ奨励費、運営費、保健衛生充実事業費等に要する経費などを助成 ・鹿児島市私立幼稚園協会に対しては、協会運営に要する経費を助成	市単	[概算コスト] 184,741 (内訳) ・決算額 184,116 ・人件費 625 (0.08人)	[概算コスト] 199,463 (内訳) ・決算額 198,844 ・人件費 619 (0.08人)	[概算コスト] 194,877 (内訳) ・決算額 194,262 ・人件費 615 (0.08人)	[概算コスト] 196,660 (内訳) ・予算額 196,037 ・人件費 623 (0.08人)
66	地域安心安全ネットワーク会議活動支援事業	危機管理局 安心安全課	助成・育成	○事業開始年度 平成20年度 【概要】 地域における安心安全なまちづくりを推進するため、「地域安心安全ネットワーク会議」に対し、会議費等を助成するとともに、安心安全なまちづくりに関する活動に対して助成を行う。 【対象者】 地域安心安全ネットワーク会議 【具体的な活動内容】 ・地域安心安全ネットワーク会議補助金 ・安心安全なまちづくりに関する活動補助金	市単	[概算コスト] 5,221 (内訳) ・決算額 2,876 ・人件費 2,345 (0.30人)	[概算コスト] 3,054 (内訳) ・決算額 1,506 ・人件費 1,548 (0.20人)	[概算コスト] 1,631 (内訳) ・決算額 863 ・人件費 768 (0.10人)	[概算コスト] 1,446 (内訳) ・予算額 823 ・人件費 623 (0.08人)
67	私立幼稚園施設・設備整備等助成事業	健康福祉局 保育幼稚園課	助成・育成	○事業開始年度 平成5年度 【概要】 私立幼稚園教育の円滑な実施と就学前教育のより一層の充実を図るため、私立幼稚園等が施設整備等を実施しようとする場合、予算の範囲内で補助金を交付する。 【対象者】 私立幼稚園及び認定こども園 【具体的な活動内容】 ・私立幼稚園等が、園舎の新築・増改築、屋外教育環境の整備、大型遊具・備品の整備や購入を行う際に、必要となる経費の一部を助成するもの。	市単	[概算コスト] 9,706 (内訳) ・決算額 8,142 ・人件費 1,564 (0.20人)	[概算コスト] 9,135 (内訳) ・決算額 7,587 ・人件費 1,548 (0.20人)	[概算コスト] 22,773 (内訳) ・決算額 19,700 ・人件費 3,073 (0.40人)	[概算コスト] 8,516 (内訳) ・予算額 6,959 ・人件費 1,557 (0.20人)
68	私立学校に対する助成	総務局 総務課	助成・育成	○事業開始年度 高等学校:昭和28年度、専修学校等:昭和58年度 【概要】 教職員の資質向上及び教材の充実を通じて私立学校等の振興に寄与するため、毎年度の4月1日現在において本市内に私立学校等を設置する学校法人等に対し、教職員の研修や教材等の経費に助成する。 【対象者】 学校法人、準学校法人 【具体的な活動内容】 ・市内の私立高等学校または学校法人立や準学校法人立の専修学校・各種学校への助成 対象経費 教職員の研究費及び研修費 研究材料費及び教材費 対象校(平成30年4月1日現在) 私立高等学校:9校、専修学校等:17校	市単	[概算コスト] 29,830 (内訳) ・決算額 29,196 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 29,720 (内訳) ・決算額 29,092 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 29,779 (内訳) ・決算額 29,157 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 30,530 (内訳) ・予算額 29,911 ・人件費 619 (0.08人)

5-1 学校教育の充実

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
補助対象となった障害児の実人数 (単位:人)	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 〈達成率〉 100.0%	障害児教育の環境整備等が図られた園数 (単位:園)	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 12 [実績値] 12 〈達成率〉 100.0%	A	A	継続 (理由) 私立幼稚園における障害児教育の環境整備や質の向上のために、必要な事業である。
助成申請園数 (単位:園)	[目標値] 64 [実績値] 64 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 64 [実績値] 64 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 64 [実績値] 64 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 64 [実績値] 64 〈達成率〉 100.0%	幼児教育等の充実が図られた園数 (単位:園)	[目標値] 64 [実績値] 64 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 64 [実績値] 64 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 64 [実績値] 64 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 64 [実績値] 64 〈達成率〉 100.0%	A	B	見直し (理由) 私立幼稚園等における職員の資質向上や教育及び保育内容の充実のために、必要な事業であるが、研修費補助など、趣旨に合致した使われ方がなされているか検証し、見直すべきである。
地域安心安全ネットワーク会議の結成数 (単位:件)	[目標値] 80 [実績値] 78 〈達成率〉 97.5%	[目標値] 80 [実績値] 79 〈達成率〉 98.8%	[目標値] 80 [実績値] 80 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 80 [実績値] 80 〈達成率〉 100.0%	補助を受け活動に取り組む団体数 (単位:件)	[目標値] 78 [実績値] 53 〈達成率〉 67.9%	[目標値] 79 [実績値] 57 〈達成率〉 72.2%	[目標値] 80 [実績値] 61 〈達成率〉 76.3%	[目標値] 80 [実績値] 61 〈達成率〉 76.3%	A	A	継続 (理由) 地域における安心安全なまちづくりを推進するために必要な事業である。
私立幼稚園施設・設備整備等助成事業の申請園数 (単位:園)	[目標値] 6 [実績値] 6 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 13 [実績値] 13 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	私立幼稚園等の入所者数 (単位:人)	[目標値] 10,018 [実績値] 8,416 〈達成率〉 84.0%	[目標値] 9,660 [実績値] 8,358 〈達成率〉 86.5%	[目標値] 9,731 [実績値] 8,216 〈達成率〉 84.4%	[目標値] 9,444 [実績値] 8,216 〈達成率〉 86.4%	A	A	継続 (理由) 私立幼稚園教育の円滑な実施と就学前教育のより一層の充実を図るために、必要な事業である。
補助校数 (単位:件)	[目標値] 26 [実績値] 25 〈達成率〉 96.2%	[目標値] 26 [実績値] 25 〈達成率〉 96.2%	[目標値] 26 [実績値] 25 〈達成率〉 96.2%	[目標値] 26 [実績値] 25 〈達成率〉 96.2%	教職員の資質向上と教材の充実のために補助金が有効に活用された件数 (単位:件)	[目標値] 25 [実績値] 25 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 25 [実績値] 25 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 25 [実績値] 25 〈達成率〉 100.0%	[目標値] - [実績値] - 〈達成率〉 -	A	A	継続 (理由) 私立学校等の教職員の研修や教材等の助成をすることにより、教職員の資質向上や教材等の充実が図られ、私立学校等の振興に寄与することから、必要な事業である。

5-3 市民文化の創造

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
69	鹿児島芸術鑑賞事業	市民局 文化振興課	助成・育成	<p>○事業開始年度 昭和52年度</p> <p>【概要】 児童生徒等の創造性を育み、心豊かな人間形成に資するため、「芸術家派遣プロジェクト」、児童演劇やミュージカルの観劇会を行い、優れた芸術を鑑賞する機会を提供する。</p> <p>【対象者】 市民(幼児～中学生)</p> <p>【具体的な活動内容】 ・芸術鑑賞事業の進行管理 ①小・中学校への芸術鑑賞事業の希望調査・とりまとめ・実施校決定 ②学校等での芸術鑑賞の実施</p>	市単	[概算コスト] 16,793 (内訳) ・決算額 16,480 ・人件費 313 (0.04人)	[概算コスト] 9,900 (内訳) ・決算額 9,590 ・人件費 310 (0.04人)	[概算コスト] 11,456 (内訳) ・決算額 11,149 ・人件費 307 (0.04人)	[概算コスト] 13,296 (内訳) ・予算額 12,985 ・人件費 311 (0.04人)
70	児童文学振興事業	市民局 文化振興課	助成・育成	<p>○事業開始年度 平成27年度</p> <p>【概要】 本市の児童文学の書き手の育成を図るため、児童文学者等による創作講座を開催するとともに、優れた児童文学作品の出版に対し助成するほか、小学生を対象とした読み聞かせ会等を行う。</p> <p>【対象者】 市民</p> <p>【具体的な活動内容】 ・児童文学振興事業の進行管理 ①児童文学創作講座の参加者募集・実施等 ②児童書出版助成の作品募集・選考・発表等 ③校区公民館等での「金の鈴」読み聞かせ会の実施 ④椋鳩十児童文学賞受賞者との交流会の実施校募集・実施等 ⑤子どもたちに聞かせたい創作童話の募集・選考・表彰等</p>	市単	[概算コスト] 12,666 (内訳) ・決算額 12,041 ・人件費 625 (0.08人)	[概算コスト] 11,219 (内訳) ・決算額 10,600 ・人件費 619 (0.08人)	[概算コスト] 11,189 (内訳) ・決算額 10,574 ・人件費 615 (0.08人)	[概算コスト] 11,512 (内訳) ・予算額 10,889 ・人件費 623 (0.08人)
71	近代文学館・メルヘン館管理運営事業	市民局 文化振興課	施設維持・管理	<p>○事業開始年度 平成9年度</p> <p>【概要】 当該施設が本市の文学振興等を目的とした子どもから大人までの世代を対象とした教育文化施設であることを踏まえ、多くの市民に親しみを持って楽しく利用していただくため、施設の管理運営を行う。</p> <p>【対象者】 全市民および施設利用者</p> <p>【具体的な活動内容】 ・常設展示(年間6回程度展示入替えを実施) ・特別企画展・企画展の実施 ・各種イベント(講座、ワークショップ、おはなし会など)の実施</p>	市単	[概算コスト] 183,089 (内訳) ・決算額 182,464 ・人件費 625 (0.08人)	[概算コスト] 181,799 (内訳) ・決算額 181,180 ・人件費 619 (0.08人)	[概算コスト] 184,113 (内訳) ・決算額 183,498 ・人件費 615 (0.08人)	[概算コスト] 184,561 (内訳) ・予算額 183,938 ・人件費 623 (0.08人)

5-3 市民文化の創造

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
芸術鑑賞事業の実施回数 (単位:回)	[目標値] 48 [実績値] 48 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 40 [実績値] 40 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 42 [実績値] 42 〈達成率〉 100.0%	[目標値]	芸術家派遣プロジェクトに対する実施校・施設の総合的評価 (単位:点 5点満点)	[目標値] 5.0 [実績値] 4.8 〈達成率〉 96.0%	[目標値] 5.0 [実績値] 4.9 〈達成率〉 98.0%	[目標値] 5.0 [実績値] 4.8 〈達成率〉 96.0%	[目標値] 5.0	A	A	継続 (理由) 芸術鑑賞の機会を提供することで、児童生徒等の創造性を育み、心豊かな人間形成に資するため、必要な事業である。
児童文学創作講座の参加者数 (単位:人)	[目標値] 30 [実績値] 30 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 30 [実績値] 35 〈達成率〉 116.7%	[目標値] 30 [実績値] 32 〈達成率〉 106.7%	[目標値] 30	「子どもたちに聞かせたい創作童話」への応募者数 (単位:人)	[目標値] 200 [実績値] 210 〈達成率〉 105.0%	[目標値] 200 [実績値] 201 〈達成率〉 100.5%	[目標値] 200 [実績値] 156 〈達成率〉 78.0%	[目標値] 200	A	A	継続 (理由) 本市の児童文学の書き手の育成や読み手の読書活動のきっかけづくりのために必要な事業である。 なお、創作童話への応募者数が減少していることから、さらなる広報周知に努めること。
近代文学館主催の講座の開催回数 (単位:回)	[目標値] 60 [実績値] 60 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 60 [実績値] 60 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 60 [実績値] 60 〈達成率〉 100.0%	[目標値]	全体観覧者数 (単位:人)	[目標値] 200,000 [実績値] 186,176 〈達成率〉 93.1%	[目標値] 200,000 [実績値] 178,511 〈達成率〉 89.3%	[目標値] 200,000 [実績値] 135,693 〈達成率〉 67.8%	[目標値] 200,000	A	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照

5-4 スポーツ・レクリエーションの振興

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
72	全日本少年サッカー大会決勝大会開催支援事業	観光交流局 スポーツ課	助成・育成	○事業開始年度 平成27年度 【概要】 競技人口の拡大、交流人口の増加を図るため、日本サッカー協会が主催する全国少年サッカー大会(全国大会)の開催を支援し、市が運営主体となっているおもてなし実行委員会に対して運営費の一部を助成する。 【対象者】 全日本少年サッカー大会鹿児島市おもてなし実行委員会 【具体的な活動内容】 交付金の支出	市単	[概算コスト] 3,134 (内訳) ・決算額 2,500 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 3,128 (内訳) ・決算額 2,500 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 3,122 (内訳) ・決算額 2,500 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 3,119 (内訳) ・予算額 2,500 ・人件費 619 (0.08人)
73	ビーチバレーボール大会の開催	観光交流局 スポーツ課	助成・育成	○事業開始年度 平成8年度 【概要】 ビーチバレーボールの競技人口の拡大、交流人口の増加を図るため、大会を実施している実行委員会へ補助金を交付する。 【対象者】 KYUSHU SUN-CUP実行委員会 【具体的な活動内容】 補助金の支出	市単	[概算コスト] 817 (内訳) ・決算額 500 ・人件費 317 (0.04人)	[概算コスト] 764 (内訳) ・決算額 450 ・人件費 314 (0.04人)	[概算コスト] 761 (内訳) ・決算額 450 ・人件費 311 (0.04人)	[概算コスト] 760 (内訳) ・予算額 450 ・人件費 310 (0.04人)

5-4 スポーツ・レクリエーションの振興

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
大会の開催 (単位:件)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1	来場者数 (単位:人)	[目標値] 15,000 [実績値] 21,502 <達成率> 143.3%	[目標値] 15,000 [実績値] 16,837 <達成率> 112.2%	[目標値] 15,000 [実績値] 17,983 <達成率> 119.9%	[目標値] 15,000	A	A	継続 (理由) 全国大会を開催することは、交流人口の増や本市の魅力を伝えるために必要な事業である。
大会の開催 (単位:件)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1	参加者数 (単位:%)	[目標値] 400 [実績値] 295 <達成率> 73.8%	[目標値] 400 [実績値] 234 <達成率> 58.5%	[目標値] 400 [実績値] 186 <達成率> 46.5%	[目標値] 400	A	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照

5-5 人権尊重社会の形成

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
74	人権啓発活動事業	市民局 人権啓発室	啓発・広報	○事業開始年度 昭和52年度 【概要】 人権尊重の意識高揚を図るため、様々な人権問題について、啓発冊子等を作成し、広く市民、企業等へ広報・啓発を行う。 【対象者】 市民・企業等 【具体的な活動内容】 ・人権啓発ポスターや啓発冊子等の作成、配布、掲出等 ・パネル展等の開催	県補助	[概算コスト] 3,983 (内訳) ・決算額 856 ・人件費 3,127 (0.40人)	[概算コスト] 3,776 (内訳) ・決算額 680 ・人件費 3,096 (0.40人)	[概算コスト] 3,925 (内訳) ・決算額 852 ・人件費 3,073 (0.40人)	[概算コスト] 3,972 (内訳) ・予算額 858 ・人件費 3,114 (0.40人)
75	人権啓発事業	市民局 人権啓発室	啓発・広報	○事業開始年度 昭和52年度 【概要】 様々な人権課題に対する人権教育・啓発に関する施策等を総合的かつ計画的に推進するため、人権啓発に関する懇話会を開催する。 【対象者】 人権啓発に関する懇話会委員、市職員 【具体的な活動内容】 懇話会の進行管理 ①懇話会を年3回開催 ②人権意識の高揚を図ることを目的とする職員の研修大会への参加	市単	[概算コスト] 11,236 (内訳) ・決算額 3,731 ・人件費 7,505 (0.96人)	[概算コスト] 9,279 (内訳) ・決算額 3,088 ・人件費 6,191 (0.80人)	[概算コスト] 10,895 (内訳) ・予算額 3,519 ・人件費 7,376 (0.96人)	[概算コスト] 9,835 (内訳) ・予算額 3,606 ・人件費 6,229 (0.80人)
76	男女共同参画センター運営事業	市民局 男女共同参画推進課	啓発・広報	○事業開始年度 平成13年度 【概要】 男女がともに人権を尊重しあい、あらゆる分野に参画し、その能力を十分に発揮し、いきいきと活躍できる社会づくりを目指すため、活動拠点施設である男女共同参画センターにおいて、「学習」「情報」「支援」「相談」「調査研究」の5つの機能に基づき事業を行う。 【対象者】 本市に在住、通勤、通学する者 【具体的な活動内容】 ・男女共同参画に関する啓発イベントやサポーター養成講座の開催 ・図書等情報提供事業 ・育児支援(館内託児の実施、育児に関する講座の実施) ・相談事業 など	市単	[概算コスト] 18,605 (内訳) ・決算額 10,005 ・人件費 8,600 (1.10人)	[概算コスト] 18,319 (内訳) ・決算額 9,806 ・人件費 8,513 (1.10人)	[概算コスト] 18,236 (内訳) ・決算額 9,785 ・人件費 8,451 (1.10人)	[概算コスト] 19,445 (内訳) ・予算額 10,880 ・人件費 8,565 (1.10人)
77	サンエールフェスタの開催	市民局 男女共同参画推進課	イベント	○事業開始年度 平成12年度 【概要】 男女共同参画社会の実現に向けて、広く男女共同参画の意識を醸成するとともに、イベントを通じて市民の情報発信や交流を支援するため、市民と共に考え行動する参画型イベントを開催する。 【対象者】 本市に在住、通勤、通学する者 【具体的な活動内容】 ・男女共同参画に関する講演会、ワークショップ、映画上映会、女性のための無料法律相談、ブックリサイクルフェア、手づくりひろば作品展示	市単	[概算コスト] 4,354 (内訳) ・決算額 2,087 ・人件費 2,267 (0.29人)	[概算コスト] 4,115 (内訳) ・決算額 1,871 ・人件費 2,244 (0.29人)	[概算コスト] 4,139 (内訳) ・決算額 1,911 ・人件費 2,228 (0.29人)	[概算コスト] 4,608 (内訳) ・予算額 2,350 ・人件費 2,258 (0.29人)
78	平和都市宣言啓発事業	総務局 総務課	啓発・広報	○事業開始年度 平成2年度 【概要】 平和を尊重する意識の醸成を図るため、平和都市宣言のより一層の啓発を行う。 【対象者】 市民等 【具体的な活動内容】 ・平和都市宣言標語の募集・表彰 ・戦災と復興資料・写真展の開催 ・原爆パネル展の開催 ・戦災復興資料の収集・活用 ・原爆投下日の黙とう呼びかけ など	市単	[概算コスト] 5,227 (内訳) ・決算額 1,474 ・人件費 3,753 (0.48人)	[概算コスト] 5,056 (内訳) ・決算額 1,341 ・人件費 3,715 (0.48人)	[概算コスト] 5,076 (内訳) ・決算額 1,388 ・人件費 3,688 (0.48人)	[概算コスト] 5,132 (内訳) ・予算額 1,395 ・人件費 3,737 (0.48人)
79	平和都市宣言30周年事業	総務局 総務課	啓発・広報	○事業開始年度 平成7年度(周年事業として5年毎に実施) 【概要】 平成32年の平和都市宣言30周年に際し、より一層の平和意識の醸成を図るため、記念事業を実施する。 【対象者】 市民等 【具体的な活動内容<<27年度(25周年)の実施内容>>】 ・平和美術企画展の開催 ・ヒロシマ原爆展及び鹿児島市の戦災と復興資料・写真展の開催 ・平和都市宣言25周年記念作品の募集 ・平和記念作品集の作成 ・平和都市宣言ポスターの製作 など	市単	[概算コスト] 9,564 (内訳) ・決算額 4,091 ・人件費 5,473 (0.70人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 0 (内訳) ・予算額 0 ・人件費 0 (0.00人)

5-5 人権尊重社会の形成

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
啓発冊子の作成、配布 (単位:冊)	[目標値] 10,000 [実績値] 10,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 9,000 [実績値] 9,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 6,000 [実績値] 6,000 <達成率> 100.0%	[目標値]	啓発資料の内容についてのアンケートで、活用に有効であると回答された割合 (単位:%)	[目標値] 95.0 [実績値] 97.2 <達成率> 102.3%	[目標値] 95.0 [実績値] 96.9 <達成率> 102.0%	[目標値] 95.0 [実績値] 98.1 <達成率> 103.3%	[目標値] 95.0	A	A	継続 (理由) 人権尊重思想の普及高揚を図り、地域住民に人権問題に対する正しい認識を広めることにより、基本的人権の擁護に資するため、必要な事業である。
人権啓発に関する懇話会の開催回数 (単位:回)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値]	「一人ひとりの人権が尊重されている」と感じる市民の割合 (単位:%)	[目標値] 23.5 [実績値] 20.6 <達成率> 87.7%	[目標値]	[目標値]	[目標値]	A	A	継続 (理由) 様々な人権課題に対する人権教育・啓発に関する施策等を総合的かつ計画的に推進し、お互いの人権を尊重し合う共存社会の実現を目指すために必要な事業である。
講座及び啓発イベント数 (単位:コマ)	[目標値] 68 [実績値] 67 <達成率> 98.5%	[目標値] 67 [実績値] 67 <達成率> 100.0%	[目標値] 57 [実績値] 57 <達成率> 100.0%	[目標値] 52	「男性は仕事、女性は家庭」と思う市民の割合 (単位:%)	[目標値] 40.0 [実績値] 34.7 <達成率> 115.3%	[目標値]	[目標値]	[目標値]	A	A	継続 (理由) 活動拠点であるセンターにおいて講座等の開催や情報提供を行うことは、男女共同参画社会の形成を促進するために必要な事業である。 なお、引き続き、利用者等の意見を取り入れながら事業運営に取り組むこと。
男女共同参画関係企画参加者数 (単位:人)	[目標値] 1,120 [実績値] 1,112 <達成率> 99.3%	[目標値] 1,223 [実績値] 1,267 <達成率> 103.6%	[目標値] 1,168 [実績値] 925 <達成率> 79.2%	[目標値] 1,170	参加者アンケート評価(とても良い・良いの割合) (単位:%)	[目標値] 100 [実績値] 85.0 <達成率> 85.0%	[目標値] 100 [実績値] 77.1 <達成率> 77.1%	[目標値] 100 [実績値] 85.1 <達成率> 85.1%	[目標値] 100	B	B	見直し (理由) ※外部評価報告書参照
平和都市宣言標語の募集など、平和意識の醸成のため取組数 (単位:件)	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	[目標値] 11	標語の応募者数(対象:市内小学5・6年生、中学生) (単位:人)	[目標値] 8,800 [実績値] 7,261 <達成率> 82.5%	[目標値] 8,700 [実績値] 8,467 <達成率> 97.3%	[目標値] 8,700 [実績値] 11,699 <達成率> 134.5%	[目標値] 8,700	A	A	継続 (理由) 平和を尊重する意識を醸成するために必要な事業である。
記念事業の取組数 (単位:件)	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] - [実績値] - <達成率> -	[目標値] - [実績値] - <達成率> -	[目標値] -	記念作品の募集(作文、絵画:市内小学5・6年生、中学生が対象) (単位:件)	[目標値] 464 [実績値] 575 <達成率> 123.9%	[目標値] - [実績値] - <達成率> -	[目標値] - [実績値] - <達成率> -	[目標値] -	A	A	継続 (理由) 周年を契機として実施する本事業は、平和を尊重する意識を醸成するために必要な事業である。

6-1 機能性の高い都市空間の形成

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)			
						27年度	28年度	29年度	30年度
80	都市計画関連事業	建設局 都市計画課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 大正14年度 【概要】 市街地における住居、商業、工業などの適正な配置による計画的な土地利用の誘導を図るため、建築物の立地動向、公共施設の整備状況等を踏まえた用途地域の見直し等を行うとともに、地区の特性に応じたきめ細かなまちづくりを行うため、地区計画を決定する。 【対象者】 全市民 【具体的な活動内容】 ・用途地域の見直し等及び地区計画決定に向けた、関係機関との協議、説明会、公聴会の開催、公告及び縦覧等	市単	[概算コスト] 40,702 (内訳) ・決算額 9,430 ・人件費 31,272 (4.00人)	[概算コスト] 38,642 (内訳) ・決算額 10,162 ・人件費 28,480 (3.68人)	[概算コスト] 40,374 (内訳) ・決算額 9,027 ・人件費 31,347 (4.08人)	[概算コスト] 88,665 (内訳) ・予算額 58,767 ・人件費 29,898 (3.84人)
81	地籍調査事業	建設局 道路管理課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成22年度(再開) 【概要】 土地境界を巡るトラブルの未然防止や登記手続きの簡素化等を図るため、毎筆の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果を地図及び簿冊に作成する。 【対象者】 地籍調査対象地区内の土地所有者 【具体的な活動内容】 ・地籍調査の実施及びその結果の法務局への送付 H27: 田上・田上台地区、森山団地、小原町、宇宿四丁目(0.19km ²) H28: 田上・田上台地区、日之出町地区、南新町地区(0.52km ²) H29: 武岡団地、南新町地区(0.28km ²)	県補助	[概算コスト] 72,233 (内訳) ・決算額 33,143 ・人件費 39,090 (5.00人)	[概算コスト] 75,511 (内訳) ・決算額 36,816 ・人件費 38,695 (5.00人)	[概算コスト] 73,449 (内訳) ・決算額 35,034 ・人件費 38,415 (5.00人)	[概算コスト] 80,571 (内訳) ・予算額 41,641 ・人件費 38,930 (5.00人)
82	中央町19・20番街区市街地再開発事業	建設局 市街地まちづくり推進課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成27年度 【概要】 鹿児島中央駅周辺を含む中心市街地全体の活性化につなげるため、中央町19・20番街区において、魅力ある商業施設、快適な回遊拠点などを一体的に整備する市街地再開発事業を推進する。 【対象者】 地権者 【具体的な活動内容】 ・平成27年度 都市計画決定、補助金交付(32年度まで) ・平成28年度 事業計画(市街地再開発組合設立)認可 ・平成29年度 都市計画通路決定、権利変換計画認可、解体着工 ・平成30年度 再開発ビル着工(33年1月竣工)	国・県補助	[概算コスト] 72,289 (内訳) ・決算額 60,562 ・人件費 11,727 (1.50人)	[概算コスト] 98,166 (内訳) ・決算額 86,557 ・人件費 11,609 (1.50人)	[概算コスト] 320,029 (内訳) ・決算額 308,504 ・人件費 11,525 (1.50人)	[概算コスト] 914,501 (内訳) ・予算額 902,822 ・人件費 11,679 (1.50人)
83	土地区画整理事業の推進(吉野地区、郡山中央地区、谷山第三地区)	建設局 区画整理課 吉野区画整理課 谷山都市整備課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 H4年度(吉野地区) H7年度(郡山中央地区) H23年度(谷山第三地区) 【概要】 市街地の住宅地として良好な都市環境を創出するため、公共施設の整備改善等を行う土地区画整理事業を推進する。 【対象者】 土地区画整理事業施行区域内に土地、建物等を所有している権利者など 【具体的な活動内容】 ・都市計画道路等の築造 ・建物移転 ・公園整備 など	国・県補助	[概算コスト] 3,121,876 (内訳) ・決算額 2,947,535 ・人件費 174,341 (22.30人)	[概算コスト] 2,733,890 (内訳) ・決算額 2,562,626 ・人件費 171,264 (22.13人)	[概算コスト] 2,741,327 (内訳) ・決算額 2,568,229 ・人件費 173,098 (22.53人)	[概算コスト] 3,363,731 (内訳) ・予算額 3,128,827 ・人件費 234,904 (30.17人)
84	屋外広告物による景観まちづくり事業	建設局 都市景観課	監視・規制	○事業開始年度 平成8年度 【概要】 景観に配慮したまちづくりを推進するため、屋外広告物の規制、誘導を図るとともに、市民等との協働で違反広告物の簡易除却に取り組む。 【対象者】 屋外広告物設置者等 【具体的な活動内容】 ・屋外広告物の許可、届出 ・屋外広告物の登録、特例屋外広告物の届出 ・違反広告物対策(簡易除却、未申請物件等の是正指導) ・屋外広告物審議会の開催	市単	[概算コスト] 26,313 (内訳) ・決算額 10,677 ・人件費 15,636 (2.00人)	[概算コスト] 26,704 (内訳) ・決算額 11,226 ・人件費 15,478 (2.00人)	[概算コスト] 28,212 (内訳) ・決算額 12,846 ・人件費 15,366 (2.00人)	[概算コスト] 32,016 (内訳) ・予算額 16,444 ・人件費 15,572 (2.00人)
85	地域景観掘り起こし事業	建設局 都市景観課	啓発・広報	○事業開始年度 平成21年度 【概要】 景観形成に対する市民意識の高揚を図るため、良好な景観形成に取り組む市民・団体等を表彰するほか、市民教室の開催、景観アドバイザーの派遣などのソフト事業を実施する。 【対象者】 市民、事業者、各種団体 【具体的な活動内容】 ・景観アドバイザーの派遣 ・住民主体の景観まちづくり実務経験者を講師とする教室の開催 ・小学生等を対象とした景観まちづくり学習の開催 ・景観写真パネル展の開催 ・景観写真コンテスト(隔年)、景観まちづくり賞(隔年)	市単	[概算コスト] 5,147 (内訳) ・決算額 1,238 ・人件費 3,909 (0.50人)	[概算コスト] 7,121 (内訳) ・決算額 2,632 ・人件費 4,489 (0.58人)	[概算コスト] 5,227 (内訳) ・決算額 1,385 ・人件費 3,842 (0.50人)	[概算コスト] 7,564 (内訳) ・予算額 3,048 ・人件費 4,516 (0.58人)

6-1 機能性の高い都市空間の形成

主な活動指標					主な成果指標					一次評価結果	二次評価結果	評価理由
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度			
用途地域等の見直しに取り組んだ箇所数 (単位:件数)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] - [実績値] - <達成率> -	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] - [実績値] - <達成率> -	用途地域等の見直し箇所数 (単位:件数)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] - [実績値] - <達成率> -	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] - [実績値] - <達成率> -	A	A	継続 (理由) 機能性の高い都市空間の形成を図るため、必要な事業である。
年度調査完了面積 (単位:k㎡)	[目標値] 0.44 [実績値] 0.44 <達成率> 100.0%	[目標値] 0.67 [実績値] 0.67 <達成率> 100.0%	[目標値] 0.19 [実績値] 0.19 <達成率> 100.0%	[目標値] 0.52 [実績値] 0.19 <達成率> 100.0%	地籍調査完了面積(累計) (単位:k㎡)	[目標値] 218.79 [実績値] 218.79 <達成率> 100.0%	[目標値] 219.46 [実績値] 219.46 <達成率> 100.0%	[目標値] 219.65 [実績値] 219.65 <達成率> 100.0%	[目標値] 220.17 [実績値] 219.65 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 毎筆の土地について、所有者や境界に関する調査を行い、土地境界に係るトラブルの未然防止や土地の有効利用の促進などを図るために必要な事業である。
組合理事会等への参加 (単位:回)	[目標値] 24 [実績値] 32 <達成率> 133.3%	[目標値] 24 [実績値] 35 <達成率> 145.8%	[目標値] 24 [実績値] 26 <達成率> 108.3%	[目標値] 24 [実績値] 26 <達成率> 108.3%	補助金の執行状況(累計) (単位:億円)	[目標値] 1.4 [実績値] 1.4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4.5 [実績値] 4.5 <達成率> 100.0%	[目標値] 6.9 [実績値] 6.9 <達成率> 100.0%	[目標値] 15.5 [実績値] 6.9 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) にぎわいとゆとりある都市空間の創出などを図り、鹿児島中央駅周辺を含む中心市街地全体の活性化につなげるために、必要な事業である。
道路整備延長 (単位:m)	[目標値] 1,412 [実績値] 1,412 <達成率> 100.0%	[目標値] 656 [実績値] 656 <達成率> 100.0%	[目標値] 1,260 [実績値] 1,260 <達成率> 100.0%	[目標値] 1,827 [実績値] 1,260 <達成率> 100.0%	道路整備延長(累計) (単位:m)	[目標値] 37,810 [実績値] 37,810 <達成率> 100.0%	[目標値] 38,466 [実績値] 38,466 <達成率> 100.0%	[目標値] 39,726 [実績値] 39,726 <達成率> 100.0%	[目標値] 41,553 [実績値] 39,726 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 計画的に土地区画整理事業を実施することにより、良好な居住環境が形成されるため、必要な事業である。
違反広告物除却推進団体登録員数 (単位:人)	[目標値] 100 [実績値] 68 <達成率> 68.0%	[目標値] 100 [実績値] 114 <達成率> 114.0%	[目標値] 200 [実績値] 113 <達成率> 56.5%	[目標値] 150 [実績値] 113 <達成率> 56.5%	違反広告物除却推進団体による除却件数 (単位:枚)	[目標値] 127 [実績値] 127 <達成率> 100.0%	[目標値] 133 [実績値] 133 <達成率> 100.0%	[目標値] 125 [実績値] 125 <達成率> 100.0%	[目標値] - [実績値] 125 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 景観に配慮した屋外広告物の規制、誘導を図ることは、良好な景観が形成されることや危険防止のため、必要な事業である。
景観アドバイザーの派遣 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	景観アドバイザーが派遣された勉強会等への参加人数 (単位:人)	[目標値] 23 [実績値] 23 <達成率> 100.0%	[目標値] 108 [実績値] 108 <達成率> 100.0%	[目標値] 47 [実績値] 47 <達成率> 100.0%	[目標値] 47 [実績値] 47 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照